

福音伝道者の 手引き書 レベル1

アンドリュー・ウオーマック

ドン・クロウ



Andrew Wommack Ministries
Woodland Park, Colorado USA

Andrew Wommack Ministries, Inc.
PO Box 3333
Colorado Springs 80934-3333
USA
www.awmi.net

引用されている聖書はすべて新改訳聖書を使用しています。

福音伝道者の
手引き書
レベル1

© 2019 By Andrew Wommack Ministries, Inc.

ISBN 978-1-948876-03-2

コピー権は国際著作権法で守られています。
内容の複写又は再生はキリスト教宣教の目的のみにて許されています。

目次

福音伝道者の手引書レベル1について.....	v
1. 永遠の命.....	7
2. 恵みによる救い.....	13
3. 恵みによる義.....	20
4. 神との交わ.....	25
5. 神の本質.....	32
6. 悔い改め.....	38
7. 神に自分を委ねること.....	46
8. 水による洗礼.....	51
9. キリストによる人間のアイデンティティー(自己価値観)(パート1).....	56
10. キリストによる人間のアイデンティティー(自己価値観)(パート2).....	62
11. クリスマンが罪を犯すとどうなるのか?.....	67
12. 完全完璧な神のことば.....	73
13. 神は無罪です.....	79

14. 聖霊に満ちた権力のある人生	85
15. 聖霊を授かる方法	91
16. 異言を語ることの恩恵	98
回答セクション.....	104
イエスキリストを救い主として受け入れましょう.....	128
聖霊のバプテスマを受けましょう.....	129
365日聖書通読計画表	130
著者について.....	136

福音伝道者の手引書レベル1について

福音伝道者の手引書 レベル1へようこそ

この優れたプログラムは、アンドリュー・ウオーマック氏とドン・クロウ氏との共同制作作品であり、クリスチャンを養成するための基礎として創作されました。この手引書はどこでも、誰にでも使用できます。個人、小グループ、教会、学校、そして大会にてでも、このプログラムはその読者を根本から変えます。

この手引書は48レッスン、3レベルあるいは3巻に分かれ、テキスト、関連する聖書のみ言葉、質問と答えがそれぞれのレッスンに含まれています。主は私たちに、単に回心を勧めるだけでなく弟子を養育しなさいと言われました。(マタイの福音書28:19)このプログラムはキリスト教に回心した人たちを、弟子に、さらにこの弟子たちがその弟子を系統立て養育できるように作られています。

レベル1あるいは16レッスンは、聖書の真理の基礎を紹介し、神の愛と恵み(グレース)がはっきりと理解できるように手助けをします。これらに加えて、2つの事柄が紹介されています。一つは「イエスキリストを救い主として受け入れる方法」もう一つは「聖霊のバプテスマを受ける方法」です。最後に、神のみ言葉全体を通読するために、聖書を12ヶ月で読むプログラムが挿入されています。

この手引書は個人、あるいは、一社会を改心させるために世界各国で使用され、各種の言語に訳されていて、PDFフォーマットで、アンドロイドまたは 아이폰 awmi.net/about-us/demo にて自由にダウンロードができます。

この発見の旅に出発するに先立ち、神の豊かな祝福がありますように。

.....

レッスン1

永遠の命

アンドリュー・ウォーマック

幼い頃からよく知られている聖書の言葉は、ヨハネの福音書3章16節だとされています。しかし、その割には、誤解そして誤用されているように思われます。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネの福音書3:16)

一般に、イエスがこの世に来られて、私たちの罪のために亡くなられたのは、私たちの命が滅びないためであると教えられて来ました。しかし、本当のところ、イエスがこの世に来られて亡くなられた真の目的は、あなたに永遠の命を与えるためなのです。たまたま、罪が私たち人間と永遠の命の間の壁となり、妨げとなったのです。

イエスが人間の罪のために亡くなられたこと、そしてその事実を信じることによって救われ、滅びることがないということは、揺るぎない真実です。しかし、救いの真理はそれだけではないのです。真のイエスの福音とは、神が永遠の命を与えて下さることです。これはどうい事なのか、説明しましょう。

十字架にかかる前の晩、イエスは「その永遠のいのちとは、彼らが唯一の、まことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることであります。」(ヨハネの福音書17:3)と祈りました。

この聖句によりますと、「永遠のいのち」とは、まことの父なる神と、神のつかわされたイエス・キリストを「知る」ことである、とされるされています。これが、まさに「永遠のいのち」なのです。多くの方は、永遠の命とは、永遠に生きることだと考えています。しかし、人間であれば、全員が永遠

レッスン1

に生きるのです。人が死ぬと、その人はもう存在しなくなる、という考えは間違っています。人の霊と魂は神のもとに帰り、身体は腐敗します。本当のところ、この地球上で生きた人間たちすべては、霊のかたちとして生き続けます。ですから、イエスが語る「永遠のいのち」とはずっと生き続けることだけだと言ってしまつては、間違いが生じるのです。というのは、人類全体がとこしえに霊として生き続けるからです。ヨハネの福音書3:16を読むと、この「永遠のいのち」は誰にでも与えられるものではない、ということが、はっきり示されています。

ある人は、永遠のいのちとは、地獄で生きることの代わりに、天国で永遠に生きることだと言います。しかし、ヨハネの福音書17:3でイエスが教えられた通り、「永遠のいのち」とは「神とイエス・キリストを知ること」なのです。これは、知性に頼れる以上の言葉です。聖書を通じて、この「知る」という言葉は、神様と人間が深い交わりができるということ です。

キリスト教でいう救いの真の目的は、それがどんなに素晴らしいことであろうとも、永久に天国で住み続けることだけではないのです。真の救いの目的は、神と親密な関係を持つこと、すなわち主なる神と共に永遠に深い交わりを持つことです。多くの人は、神にすがって罪の赦しを乞いましたが、本当の意味で神を知り、共に親しく生きていこうというところまでは、行っていません。

真の救いの意味を伝えないことは、キリスト教の福音に傷をつけることになるのではないのでしょうか。救いとは、将来、永遠に霊が恵を受けることだ、ということだけを伝えるなら、人々に助けの手を述べているとは言えません。実に、この世の地獄を体験しながら毎日を送っている人達が多くいます。病気、気の病い、貧困、人生や人間関係の悩み、結婚問題などに直面している方達。多くが、毎日どのように生き残ろうか心を悩まし、人生の逆流に流されないように必死で生きているのです。このように毎日を命がけで生きている方達に「将来」ということだけで、救いを勧めても、すぐに決心にはつながらないと思います。

イエスがこの世に来られた本当の目的は、地獄に行って裁きを受ける代わりに、天国で素晴らしい恵みを受けながら、永久に生き続けることだけではありません。けれども、イエスがこられたのは、現在の悪からも解放されるためです。(ガラテヤ人への手紙1:4)イエスはあなたに、父なる神との親しい、深い交わりを与えるために来られたのです。

イエスは私たち人間が、神との親密な関係をより戻すために、この世に来られたのです。イエスはあなたを愛して下さっています。イエスはあなたを知りたいと願っています。イエスは今までより更に豊かな人生を、あなたに与えたいと願っています。

イエスは言いました。「盗人(サタン)が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」(ヨハネの福音書10:10)神はあなたに永遠の命を受け取って欲しいと願っています。神はあなたに豊かな人生を送って欲しいとも願っています。この事実は今日、すぐにでもあなたにとって必要なことではないでしょうか。イエス・キリストが亡くなられたのは、私たちの罪が赦されるだけではなく、神と親しく歩むためなのです。ですから、もしあなたが神を知らないのなら、その目的のためにも神を知るべきです。すでに生まれ変わられた経験のある方は、罪が赦されたこと以上に、父なる神との深い交わりのできる、永遠の命に授かりましょう。

永遠の命に関する事実

- 福音の目的は、永遠の命である。
(ヨハネの福音書3:16)
- 永遠の命とは、神を知ることである。
(ヨハネの福音書17:3)
- 神を知るということは、親密で親しい間柄である。
(コリント人への手紙第一6:16-17)
- 今すぐにも永遠の命を得ることができる。
(ヨハネの手紙第一5:12)
- 神は、あなたと親しく交わりたいと願っている。
(ヨハネの黙示録3:20)

復習問題

復習問題に引用される聖書の箇所

1. ヨハネの福音書3:16を読みましょう。神がイエスをこの世に送った目的は何だったのでしょうか？ _____

ヨハネの福音書3:16「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

2. 聖書の中に出て来る「知る」とは、親密で、親しい関係を築くという意味です。(創世記4:1)ヨハネの福音書17:3を読みましょう。この箇所によると、永遠の命とは何でしょうか？ _____

創世記4:1「人は、その妻エバを知った。彼女はみごもってカインを産み、『私は、主によってひとりの男子を得た』と言った。」

ヨハネの福音書17:3「その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。」

3. ヨハネの手紙第一5:11-12を読みましょう。これによると、永遠の命はいつ始まるのでしょうか？ _____

ヨハネの手紙第一5:11-12「そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。12 御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。」

レッスン1

4. ヨハネの福音書10:10を読みましょう。イエスはどのような命(人生)を私たちに与えて下さったのでしょうか? _____

ヨハネの福音書10:10「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」

5. 豊かな命(人生)とは何でしょうか?自分の言葉で表現してみましょう。 _____
6. 神はこの世の罪を贖うためにイエスを送られ、永遠の命を下さったという事実を信じますか? _____
7. 「永遠の命」とは、ただ時がとこしえに続くというだけではなく、人生の質と豊かさに関わるということを明瞭に理解していますか? _____

レッスン2

恵みによる救い

ドン・クロウ

イエスは聖書の真理を伝えるために、たとえ話を度々使用しています。ルカの福音書18:9-14の冒頭によりますと、「自分を義人だと自任し、他の人々を見下している者たちに対しては、イエスはこのようなたとえを話された」とあります。自分を義人(正しい人)だと主張して、他人を軽蔑、そしてさげすむ人たちを対象にしています。自分のしている行為を確信している人達に、たとえ話をしたのです。「自分は他人と比べてました」だと言って、他人を軽蔑している人達のことを独善主義者と呼んでいます。

「ふたりの人が、祈るために宮に上った。ひとりパリサイ人で、もうひとり取税人であった。」(10節)現代語で言えば、ふたりは教会に行った、そのひとりパリサイ人であったということでしょう。パリサイ人は熱心な宗教家でした。パリサイとは、「分離した者」という意味で、あまりにも宗教的形式を重んずるために、「汚れるから近寄るな。人と違って、自分は誰よりもすぐれている。」とでも言ったのでしょうか。もう一人は、取税人でした。取税人とは、国民の税金を取り立てる役人で、ごまかしてだまし取る、悪質でたちの悪い人たちとされていました。定められた金額をかなり上回る額を徴収して、ローマ帝国には少額の税金を納め、多くは自分の収入としていたので、嫌われ者でした。

さて、11節。「パリサイ人は、立って、心の中でこんな祈りをした。『神よ。私はほかの人々のようにゆるする者、不正な者、姦淫をする者ではなく、ことにこの取税人のようではないことを、感謝します』」ここで注目しましょう。誰に向かって、祈りを捧げていたのでしょうか? 「神」という語を使用していますが、実は自分に向かって、祈っていたので

レッスン2

す。後ほど説明しますが、神はこの祈りを認めていませんでした。彼は「私が他の人たちと違うことを感謝します」と祈りました。パリサイ人であるこの宗教家は「わたしはほかの人たちのような者ではありません。罪人でもありません。貪欲な者、不正な者、姦淫をする者ではありません。ここで祈っている取税人のような人間でもありません。」と祈ったのです。自分は誰よりもすぐれていると信じていたので、人をさげすみ、軽蔑する態度が表れたのです。

12節では、パリサイ人は「私は週に二度断食し、自分の受けるものはみな、その十分の一をささげております。」と祈りました。「私の行為に注目してくれ。」と言ったのです。断食をすることの意味を知っていますか？「断食」とは、しばらくの間、食を取らないということです。教会には献金もしました。彼は「ほっといてくれ。自分は慈善事業に寄付もしている。献金もしている。正しい人生も送っている。」と主張する人たちの中の一人なのです。

13節の取税人はどうでしょう。「ところが、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいて言った。『神さま。こんな罪人の私をあわれんでください』『遠く離れて立ち』に注目してみましょう。この取税人は、教会の中まで入ろうとはしませんでした。今までの人生、自分のしてきたことに恥じて、離れた場所に立ち、顔も上げないで、天に目も向けず、胸をたたいたのです。旧約聖書に出てくる、胸を打つ行為とは、同時に着物を剥いで、「神よ、私のしたことをお許してください」という気持ちを、表したとされています。これは、悔い改めの行為、悔恨の心、そして傷ついた心を表す行為とされましたが、神はこのような心の状態を蔑みませんでした。罪深い人間であったにもかかわらず、この取税人は、「神よ罪人であるわたしを憐れんで下さい。」と訴え、かつ祈りました。

14節。「あなたがたに言うが、この人が、義と認められて家に帰りました。パリサイ人ではありません。なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」取税人は

過去の行為を正当化され、神の前に義とされ、罪を赦され、家に戻りました。なぜ彼の罪は赦されたのでしょうか？なぜ宗教熱心なパリサイ人ではなく、取税人が正しき者として家に帰ることができたのでしょうか？それは、パリサイ人が「自分は誰よりも正しい！罪人ではない！ほかの人より優れている」と自分を高くした反面、取税人は神の前に、自分は義の者ではなく、神に良きとされる行為はひとつもしていないと悟っていたからです。取税人は罪人でした。イエスがこの世に来られたのは、義である人のためではなく、罪人を救うためであると聖書は説いています。すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっただけです。この取税人はへりくだった思いで、罪の赦しを受け、免除されるに至ったのです。

ここでは、神の無償の恵み(グレース)による救いの話をしているのです。「恵み」とは素晴らしい言葉です。一般的に認められている意味を説明しますが、グレースという言葉はより深い意味があるのです。新約聖書が書かれているギリシャ語では、カリス(charis)と言います。一般に認められた「恵み」の意味は、無償であり、受けるに足りない人間に対しての、神の一方的な好意ということです。取税人は神から何もいただく資格はありませんでしたが、へりくだった思いで罪を悔い改めたので、神からの無償の好意を受けることができました。ギリシャ語の接尾辞であるmaをカリスにつけることによって、カリスマとする言葉があります。特定の顕示または神の恵みの型という意味で、この取税人は義とされ、無償の恵みを神からの贈り物として受け取りました。

ローマ人への手紙5:17には「もしひとりの違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりのイエス・キリストにより、いのちにあつて支配するのです」とあります。神はこの義をあなたとわたしにギフトとして与えてくださるのです。この節によりますと、この取税人はまさにこの義、キリストにあつてのみ得られる無償の贈り物、を手に入れたのです。ヨハネの福音書1:17によると「というのは、律法

レッスン2

はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。」と、あります。この恵みとは、へりくだった姿勢で、自分は神の前に義をもって立つことができない、神の情けを必要としている人間であることを、認めている人だけに与えられる恵みなのです。このような思いを持つ人たちが神の憐れみと赦しを見つけることができるのです。

復習問題

復習問題に引用される聖書の箇所

1. ルカの福音書18:9を読みましょう。たとえ話とはなんでしょう
か? _____

ルカの福音書18:9-12「自分を義人だと自任し、他の人々を見下している者たちに対しては、イエスはこのようなたとえを話された。¹⁰ふたりの人が、祈るために宮に上った。ひとりパリサイ人で、もうひとりは取税人であった。¹¹パリサイ人は、立って、心の中でこんな祈りをした。『神よ。私はほかの人々のようにゆする者、不正な者、姦淫をする者ではなく、ことにこの取税人のようではないことを、感謝します。¹²私は週に二度断食し、自分の受けるものはみな、その十分の一をささげております。』」

2. ルカの福音書18:9を読みましょう。イエスは誰にたとえ話をした
のでしょうか? _____

3. ルカの福音書18:9の最後の部分を読みましょう。自分を正しき
者としている人達は、その態度が表れます。その態度とは次の
うちどれでしょうか? _____

- A. 人が好きだ。
- B. 人をさげすむ又は人を見下す。
- C. 人に愛を持って接する。

4. ルカの福音書18:10を読みましょう。ある二人が祈りに行きました。
どこへ行ったのでしょうか? _____

5. ルカの福音書18:10を読みましょう。ある二人とは誰のことでし

レッスン2

ようか? _____

6 ルカの福音書18:11を読みましょう。パリサイ人は何を祈ったのでしょうか? _____

7. ルカの福音書18:12を読みましょう。断食とはなんのことでしょうか? _____

8. ルカの福音書18:12を読みましょう。献金をするとはどのようなことでしょうか? _____

9. ルカの福音書18:13を読みましょう。取税人はどこに立っていましたか? _____ なぜですか? _____

ルカの福音書18:13-14「ところが、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいて言った。『神さま。こんな罪人の私をあわれんでください。』¹⁴あなたがたに言うが、この人が義と認められて家に帰りました。パリサイ人ではありません。なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」

10. ルカの福音書18:13を読みましょう。取税人が頭をたれ、顔を上げなかったのはなぜでしょうか? _____

11. ルカの福音書18:13を読みましょう。取税人は何を祈ったのでしょうか? _____

12. ルカの福音書18:14を読みましょう。二人のどちらが神の義を

与えられて、家に戻ったのでしょうか？ _____

13. ルカの福音書18:14を読みましょう。なぜパリサイ人ではなく、
取税人が義とされたのでしょうか？ _____

14. ルカの福音書18:14を読みましょう。神はこの取税人をお許し
になりましたか？ _____

15. ローマ人への手紙10:13を読みましょう。「神様このような罪び
とを情けを持ってお許してください。」と今ここで、あなたがひざま
づいて祈ったとしたら、神は取税人と同じように取り計らって
くださるのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙10:13「主の御名を呼び求める者は、だれで
も救われるのです。」

ヨハネの手紙第一1:8-9「もし、罪はないと言うなら、私たちは
自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。もし、私た
ちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、
その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」

レッスン3

恵みによる義

ドン・クロウ

きょうは、「恵みによる義」という題でみてみましょう。(ローマ人への手紙3:21-23)「しかし、今は、律法とは別に、しかも律法と預言者によってあかしされて、神の義が示されました。²²すなわち、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、それはすべての信じる人に与えられ、何の差別もありません。²³すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、

「しかし、今は、律法とは別に、しかも律法と預言者によってあかしされて、神の義が示されました。」という箇所を、注目しましょう。ある人にこういう質問をしたことがあります。「天国に行くためには何をすれば、いいと思いますか？」十戒を守り、妻に対して忠実に、道徳的に正しく生きて行くなどのことをすれば良いと、彼は答えました。それに対して私は「あなたは、天国に行くために、神の臨在に又は神の御国に入るためには何をすればいいのか、理解していますか？神の義と同じ義をあなたが持っていなければいけないのです。」と答えました。すると彼は、「失礼ですが、神と同じ義を持っている人は一人もいませんよ。ただ一人だけその義を持っていた人がいます。それはイエス・キリストです！」と言いました。そこで、わたしは「それはもっともです。おっしゃる通りです。私たちの間で、それが外見上であれ内心上であれ、自分の力で律法又は十戒を完璧に守った人は一人もいません。しかし、神の御前に受け入れられるためには、神の義と同様な義が必要なのです。」と答えました。

まさしくその事が21-22節に書かれています。「かし、今は、律法とは別に、しかも律法と預言者によってあかしされて、神の義が示されました。²²すなわち、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であつ

て、それはすべての信じる人に与えられ、何の差別もありません」神があなたと私に与えて下さる義とは、「イエス・キリストを信じる信仰によって」の義なのです。そしてそれはすべての者に、信じるすべての者への義です。「義」には二種類あります。人の義と神の義です。人の義とはその人の最善の振る舞い、そして正しい行ないですが、それは神のみ前では受け入れられません。あなたには、神と等しい義が必要なのです。そして神がその義をあなたに与えて下さっているのです。一律法によらない神の義です。

ギリシャ語の、この言葉(律法)には定冠詞は付いていません。すなわち神はご自身の義を律法によらず与えて下さるということです。律法による義は、神のみ前に認められる為に良い行い、働き、そして自己達成によって得られる義です。こんにち、世界にあるすべての宗教は、良い行い、働き、自己達成によって神に認められると考えています。「ゴスペル」(福音)という言葉は、「良き知らせ」という意味です。福音、すなわち、この良き知らせは、イエス・キリストがして下さった事柄を信じることによって、神がご自身の義を提供して下さり、すべての人を受け入れて下さるということです。一私たちの罪のための十字架、私たちが負うべき罪を、律法に値する義が、負ってくれるのです。これが律法によらない、自分の行い、働き、自己達成によらない、神の義であり、それはイエス・キリストを信じる信仰によって得られるのです。

22節、神の義はイエス・キリストを信じるすべての人に与えられということに注目しましょう。なぜ神は神の義をすべての人に差し出して下さるのでしょうか?「何の差別もありません:すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません」(ローマ人への手紙3:23)「あなたは罪を犯しました、私も罪を犯しました、わたしたちはすべて神の基準または完璧さにはとても及ばないのです。罪のゆえ、私たちが一番必要としていることは、神に受けいられ、神と正しい関係を持ち、そして神の前に義とされることです。神はこの事を律法によることなく、イエス・キリストを信じる信仰によって与えて下さいました。神の

レッスン3

義は、あなたの働き、あなたの頑張り、あなたの努力、または自己達成しようとする試み、では得られないのです。これは信仰、依存、そしてイエス・キリストを信頼することによって得られるのです。

アブラハム(ユダヤ人の父)はどのようにして救われたのでしょうか?彼は神を信じたと聖書には書かれています一神の約束を信じました一義が彼に帰せられました。アブラハムが彼の信仰によって神の前に義とされた事実は彼一人のためだけではありませんでした。ローマ人への手紙3:21-22には、人はイエス・キリストを信じる信仰によって義とされるとあります。聖書によりますと、私たちの罪のためにキリストが十字架にかかって流された血という償いのゆえに、ただキリストを信じることによって義が代わって私たちに帰せられます。

「17もしひとりの違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりのイエス・キリストにより、いのちにあつて支配するのです。」(ローマ人への手紙5:17)神は義という贈り物をあなたに差し出して下さっているのです。すなわちあなたは神の前に正しき者とされるのです。贈り物はただではありませんが、受け取る人にとってはただです。贈り物を送る人が、受け取る人に払わせたら、それは贈り物ではなくなります。神はあなたとわたしに神の義を贈り物として備えて下さいました。義、無罪放免、そして神の前に正しき者とされるこの贈り物はイエス・キリストを信じる信仰によって得られるのです。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. テトスへの手紙3:5を読みましょう。私たちが必要としている義は、自分で生み出すことができるでしょうか？ _____

テトスへの手紙3:5「神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新との洗いをもって私たちを救ってくださいました。」

2. コリント人への手紙第二5:21を読みましょう。どのようなタイプの義が必要なのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第二5:21「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあって、神の義となるためです。」

3. ローマ人への手紙3:2を読みましょう。義はどのようにして受け取ることができるのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙3:22「すなわち、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、それはすべての信じる人に与えられ、何の差別もありません。」

4. ピリピへの手紙3:9を読みましょう。律法による義とはなんのでしょうか？ _____

ピリピへの手紙3:9「キリストの中にある者と認められ、律法に

レッスン3

よる自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。」

5. ガラテヤ人への手紙2:21を読みましょう。私たちはどのようにして神の無償の恵みを無効にしてしまうのでしょうか？ _____

ガラテヤ人への手紙2:21「私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそキリストの死は無意味です。」

6. ローマ人への手紙5:17を読みましょう。神の義をどのような名義で受け取るのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙5:17「もしひとりの違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりのイエス・キリストにより、いのちにあって支配するのです。」

レッスン4

神との交わり

アンドリュー・ウォーマック

人間関係で一番大事なことは、つき合う相手のことをよく理解することです。そして、それは神との関係でも同じことがいえるでしょう。神との健全な交わりを持つとするならば、神の基本的な本質そして性格を理解する必要があります。神の性格と本質を誤解している多くの人たちは、神との前向きな関係をもてません。まさにこの事が、エデンの園で、蛇に誘惑されたアダムとエバに起きたのです。誘惑に負け、ついには神に背き、人類全体を罪に落とし入れたのです。神の本質を理解していなかった事が、結局誘惑の一部になったのです。

創世記3:1-5は多くの人々に知られた箇所です。「さて、神である主が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。蛇は女に言った。『あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。』²女は蛇に言った。『私たちは、園にある木の実を食べてよいのです。³しかし、園の中央にある木の実について、神は、「あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけないからだ」と仰せになりました。』⁴そこで、蛇は女に言った。『あなたがたは決して死にません。⁵あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。』」

神は良き神ではないというサタン狡猾な表現がここでされています。神はアダムとエバから何かを差し控えようとしていたのではないか…神は彼らが最大の可能性に到達することを望まなかったのではないか…神は彼らが神のようになることを望まなかったのではないか…善悪の木を食べないように彼らに約束させた理由は、彼らを妨害

レッスン4

して傷つけるためであったのではないか。ある意味では、サタンは神が彼らに最良のものを望まないのだと、神を中傷することによって、神の本質と人格を攻撃したのです。全く同様のことが現代の人々にも起きているのです。「神に従うだけで、神の言葉に反する色々なことを試してみないと、本当の幸福を体験できないよ。人生は退屈だ…死んでも同然だ。」と、サタンはささやくのです。悲しいことに、薬物、セックス、アルコール中毒、反抗、耽溺、出世欲、その他のことに溺れたのちにも、人々は満足感が得られないのです。この現実気がついた時は、すでに人生、家族、そして健康が破壊されてしまったあとなのです。

真実、神は良い神です。神の私たちに対する意図すべては良いことのみです。サタンはエデンの園でアダムとエバを誘惑した同じ手口で、今日の私たちに神は良い神ではないのだと言っています。聖書をあまり理解していない人にとっては、ことばの上で、神が人間に厳しく、無慈悲な扱いをしている例がいくつかあるので、このような印象を受けるでしょう。民数記15:32-36には、ある人が、安息日にたぎぎを拾い、安息日のおきてを守らなかった理由で、石で打ち殺されたとあります。無慈悲に見えますが、これは、罰された理由があるのです。単に何気無く、み言葉を読む人には分かりにくいでしょう。詳しく読むと、私たちが犯した罪が極度に深い罪であったことを示すために、旧約の律法が与えられた、とあります。(ローマ人への手紙7:13)彼らの罪がいかに致命的であったか、そしてそれがいかに神に反則するものであったということに、気づかせることが、目的でした。彼らは自分たちの行いを、他の人と比べることによって評価するという間違いを犯しました。

もし誰かが罪を犯したにもかかわらず、死の裁きを受けずにすむのなら、その罪は大した罪ではなかったとして、彼らは罪の重さの水準を下げ、本当の善悪を見極める基準を見失ったのです。神は人類の正しい生き方の基準は何なのか、本来の物差しを人類に戻さなければなりません。それによって悪魔とその誘惑を否定し、間違いの選択がもたらす結果が何かを、彼らが見極めることができるようにしました。神がこの事を実行に移した時、神ご自身が与えた律法を強制

しなければなりませんでした。

神が、旧約聖書のおきてを与えたのは、「これらを全部守るまで、あなた方を受け入れて、愛することはできない」という目的ではありません。これは神の本来の姿でも、性格でもありません。むしろ悪と正義の違いがより一層明白になるように、そして私たちにいかに救い主が必要であるかを気づかせるために、与えて下さったのです。問題は、私たちを愛して下さる前に、神が完璧さを要求しているのではないかと、多くの人々が考えていたことで、それが良い行いに応じて神の愛が注がれる、という考えに陥ったのです。すべて正しく、完璧にならなければ、神に認められないと思っているのですが、それは聖書の教えではありません。

神のみこころは、人間と和解することなので、人間を裁き、罪を負わせ、罪を責めるものではありません。これが聖書の中の人々、そして、こんにちあなたに対する神の心なのです。あなたは神の本心を理解するべきです。「神は愛です」(ヨハネの手紙第一4:8)神はあなたの罪と、あなたを神から妨げる全ての溝を、取り除くことを求めています。神はこのことをイエスを通じて成し遂げられ、きょう、神との交わりを私たちに与えて下さいます。それは私たちの良い行いに基づくものではなく、イエスがあなたの罪を負って下さったことを受け入れる信仰によつてです。あなたは人生においての、どのような失敗にもかかわらず、神との交わりを持つことができるのです。神があなたに求めているものは、ただ主イエス・キリストを信じる信仰によつてのみです。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. 創世記3:1を読みましょう。サタンはエバに何を質問しましたか？

創世記3:1「さて、神である主が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。蛇は女に言った。「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」

2. 創世記2:17と3:3を読みましょう。神が直接アダムに語りかけた言葉に、エバがつけ足した言葉は何でしょうか？ _____

創世記2:17「しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」

創世記3:3「しかし、園の中央にある木の実について、神は、『あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけないからだ』と仰せになりました。」

3. 創世記3:6を読みましょう。サタンがエバの心のうちに、神のみ言葉に関する疑いの念を吹き込んだあと、彼女はどのような行為をとりましたか？ _____

創世記3:6「そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与え

たので、夫も食べた。」

4. 創世記3:9-10を読みましょう。アダムとエバが罪を犯したのち、神は彼らとの交わりを続けましたか？ _____

創世記3:9-10「神である主は、人に呼びかけ、彼に仰せられた。「あなたは、どこにいるのか。」¹⁰彼は答えた。「私は園で、あなたの声を聞きました。それで私は裸なので、恐れて、隠れました。」

5. 創世記3:22-24を読みましょう。神はなぜアダムとエバを園から追い出したのでしょうか？ _____

創世記3:22-24「神である主は仰せられた。『見よ。人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るようになった。今、彼が、手を伸ばし、いのちの木からも取って食べ、永遠に生きないように。』²³そこで神である主は、人をエデンの園から追い出されたので、人は自分がそこから取り出された土を耕すようになった。²⁴こうして、神は人を追放して、いのちの木への道を守るために、エデンの園の東に、ケルビムと輪を描いて回る炎の剣を置かれた。」

6. これが罪への罰ではなく、神の慈悲であったことがわかりますか？ _____

7. ローマ人への手紙5:17を読みましょう。どのようにして神の豊かな無償の恵みと贈り物である義を得ることができるのでしょうか？ _____

- A. 買う
- B. 稼ぐ
- C. 受け取る

レッスン4

ローマ人への手紙5:17「もしひとりの違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりのイエス・キリストにより、いのちにあつて支配するのです。」

8. ローマ人への手紙6:23を読みましょう。本当なら、罪は何に値するのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙6:23「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」

9. 無償の恵みにより、神は代わりに何を下さるのでしょうか？ _____

10. ローマ人への手紙10:3を読みましょう。もし私たちが、自分の義を神のみ前に定めようとしたら、何が欠けるのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙10:3「というのは、彼らは神の義を知らず、自分自身の義を立てようとして、神の義に従わなかったからです。」

11. ヨハネの手紙第一1:9とローマ人への手紙4:3を読みましょう。もし私たちが信じるならば、神に対するすべての罪と不正をどうすると約束して下さいましたか？ _____

ヨハネの手紙第一1:9「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」

ローマ人への手紙4:3「聖書は何と言っていますか。『それでアブラハムは神を信じた。それが彼の義とみなされた』とあります。」

12. これはどのような神の性格を意味しているのでしょうか? _____

レッスン5

神の本質

アンドリュー・ウォーマック

神との前向きな交わりを持つためには、神の本質と真の姿を知る必要があります。神は私たちの罪に対して怒っておられるのでしょうか。それとも慈悲深いお方で、その命と恵みを、私たちの行いにかかわらず、注いで下さるのでしょうか。神がこれまでに変わられたり、異なったことをなさってきた訳ではないのですが、聖書には神についての二つの見解が書かれています。神が「人間の罪を人間の責任にした」という意味の言葉が聖書に使われた時代がありました。

この事実は子供を育てることと、比べることが出来ます。子供がごく幼い頃は、なぜ礼儀正しくしなければならないのか、また、なぜわがままを言って兄弟のおもちやを取り上げてはならないのかを、理由づけてして、言い聞かせることは、無理でしょう。規則を教えて、もしそれを破るなら、しつけをしなければなりません。神やサタンのことを知らなくても、規則を強制しなければなりません。さもなければ自己中心の行動をとり、サタンが働く機会を与えることになります。概念そのものが理解できなくても、繰り返し同じ行動をとれば、罰を受けるのだと言うことは、わかります。

ある意味では、神は同じことを旧約時代になさったのです。人々が生まれ変わりを体験する前は、彼らに私たちが置かれている、新しい契約の下にある霊という認識はありませんでした。ですから、神は律法を与え、時には死を伴う罰という形で、律法を強制し、彼らを罪から守ろうとなさったのです。なぜならば、サタンは罪を通して、人類を滅ぼそうと試みたので、罪を抑制する必要が出て、さらにそれを強制施行しなければなりません。このことは罪のせいで、神は私たちを愛して下さらない、という間違った印象を残しましたが、聖書の教えは

違います。「というのは、律法が与えられるまでの時期にも罪は世にあったからです。しかし罪は、何かの律法がなければ、認められないものです。」(ローマ人への手紙5:13)「律法が与えられるまでの時期」とは、神が十戒とユダヤ人に適用される他の儀式の律法をモーセに与えた時までということです。それまでは、罪はありましたが、罪として負わされませんでした。「転嫁」とは、帳簿をつける時に使う用語で、「つけにしておいて下さい」と言って、店で何かを買う場合に使います。付けを帳簿にのせた時、それは記録されて、帳簿に残り、購入金額が転嫁されます。もし転嫁されなければ、それは記録されなかったとされ、帳簿に残りません。

この箇所では、十戒が与えられるまでの期間、罪は罪として課せられなかった、と言っているのです。これは驚くべき言葉です。創世記3章と4章を読みましょう。アダムとエバが神に対して罪を犯した時、聖い神は、もう罪に汚れた人間たちとは関わりたくないのではないか、という考えを持っている人たちが少なくありません。汚れた人間を取り除くために、聖い神は人間を園から追い出したのだと考えました。さらに、人間が自分の行いをまっすぐにするまでは、神との交わりは持てないのだ、とも考えています。これは、イエスの福音とは正反対の考えです。ローマ人への手紙5:8には、神があなたに対する愛を明らかにして、私たちがまだ罪人であった時、キリストがあなたのために死んで下さったとあります。ですから、新約聖書ではあなたが行いを正したあとではなく、まだ罪を犯している最中、神はその愛を示して下さったのです。あなたの人生を一変する福音の最大の真理の一つは、神がそのままのあなたを愛して下さることを知ることです。神はあなたを深く愛して下さっています。もしあなたがその愛を受け入れるのなら、あなた自身がそのままのままでいたいとは思わないでしょう。あなたの人生は一変されるでしょう。しかしそれは神が降り注ぐあなたへの愛によるもので、神に愛されるために変わるものではありません。

創世記4章では、アダムとエバが罪を犯した後でも、神は人間との交わりを続け、対話をしている様子がわかります。カインとアベル

レッスン5

が、捧げ物を持ってきたときにも、神は聞き取れる声で彼らに話しかけました。彼の態度によると、神の声を聞くことに慣れていたのでしょう、ですから彼らには恐れがありませんでした。

カインが弟のアベルを殺し、地球上初めての殺人犯になった時、天から神は聞き取れる声で、「あなたの弟アベルはどこにいるのか？」と問いかけました。カインは良心の呵責もなしに、うそをつきました。それは、普段から神の声に聞き慣れていたので、何の恐れもなくできたからでしょう。ということは、一般的に信じられていることとは反対に、神はいまだに人間との交わりを止めていなかったのです。神は人間に罪を負わせてはいなかったのです。ということは、神は罪を見逃したのでしょうか、彼らのしたことは間違っていなかったのでしょうか？いいえ、このことが理由で、のちに律法を与えたのです。神は正しくあるべき基準を取り戻すために、律法を与えたのです。神は救い主の必要さを示し、人間が謙虚な心で赦しを、ギフトとして受け入れなければならないとしました。悲しいことに、宗教という名で、これらのことが巧みにコントロールされ、神に赦され、受け入れられるために律法を守らなければならないという教えに至りました。しかし、これは間違いです。旧約の律法の目的は、罪を拡大して、人間が自分を救うことは出来ないことに絶望し、「神様、あなたの聖さの基準には到底たどりつきません。憐れんで、赦して下さい。」神の本質とはいつにおいても「愛」なのです。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. ローマ人への手紙5:13を読みましょう。転嫁という言葉の意味は何でしょうか？ _____

ローマ人への手紙5:13「というのは、律法が与えられるまでの時期にも罪は世にあったからです。しかし罪は、何かの律法がなければ、認められないものです。」

2. ローマ人への手紙7:7を読みましょう。律法の目的は何でしょうか？ _____

ローマ人への手紙7:7「それでは、どういうことになりますか。律法は罪なののでしょうか。絶対にそんなことはありません。ただ、律法によらないでは、私は罪を知ることがなかったでしょう。律法が、「むさぼってはならない」と言わなかったら、私はむさぼりを知らなかったでしょう。」

3. ガラテヤ人への手紙3:24を読みましょう。この箇所による律法の目的は何でしょうか？ _____

ガラテヤ人への手紙3:24「こうして、律法は私たちをキリストへ導くための私たちの養育係となりました。私たちが信仰によって義と認められるためなのです。」

4. ヨハネによる福音書8:1-11を読みましょう。イエスは姦淫の場で捕らえられた女をどのように裁いたのででしょうか？ _____

ヨハネによる福音書8:1-11「イエスはオリーブ山に行かれた。²そ

して、朝早く、イエスはもう一度宮に入られた。民衆はみな、みもとに寄って来た。イエスはすわって、彼らに教え始められた。³すると、律法学者とパリサイ人が、姦淫の場で捕らえられたひとりの女を連れて来て、真ん中に置いてから、⁴イエスに言った。『先生。この女は姦淫の現場でつかまえらでつかまえられたのです。⁵モーセは律法の中で、こういう女を石打ちにするように命じています。ところで、あなたは何と言われますか。』⁶彼らはイエスをためしてこう言ったのである。それは、イエスを告発する理由を得るためであった。しかし、イエスは身をかがめて、指で地面に書いておられた。⁷けれども、彼らが問い続けてやめなかったので、イエスは身を起こして言われた。『あなたがたのうちで罪のない者が、最初に彼女に石を投げなさい。』⁸そしてイエスは、もう一度身をかがめて、地面に書かれた。⁹彼らはそれを聞くと、年長者たちから始めて、ひとりひとり出て行き、イエスがひとり残された。女はそのままそこにいた。¹⁰イエスは身を起こして、その女に言われた。『婦人よ。あの人たちは今どこにいますか。あなたを罪に定める者はなかったのですか。』¹¹彼女は言った。『だれもいません。』そこで、イエスは言われた。『わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。今から決して罪を犯してはなりません。』

5. ヨハネによる福音書3:34を読みましょう。イエスの言葉と行動は神の本質を示しましたか? _____

ヨハネによる福音書3:34「神がお遣わしになった方は、神のことばを話される。神が御霊を無限に与えられるからである。」

6. ヨハネの手紙第一4:8を読みましょう。この箇所による神の本質とは何でしょうか? _____
- _____

ヨハネの手紙第一4:8「愛のない者に、神はわかりません。なぜ

なら神は愛だからです。」

7. ローマ人への手紙5:6を読みましょう。神の愛は私たちがどのような時に示されたのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙5:6「私たちがまだ弱かったとき、キリストは定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました。」

8. ローマ人への手紙5:8を読みましょう。神は、私たちがどのような時に愛して下さったのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙5:8「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」

9. ローマ人への手紙5:10を読みましょう。神は、私たちがどのような時に、和解して下さったのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙5:10「もし敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させられたのなら、和解させられた私たちが、彼のいのちによって救いにあずかるのは、なおさらのことです。」

10. イエスがあなたの罪のために代わりに支払って下さったことを信じて、イエスキリストに赦しを乞い、救い主そして主として受け入れるならば、神はあなたにその本質と憐れみを示して下さるのでしょうか？ _____

レッスン6

悔い改め

ドン・クロウ

悔い改めとは何か、誤解している人たちがいます。悔い改めとは完全無欠という意味ではなく、方向を変えることです。放蕩息子または、迷った息子のたとえ話をしていきましょう。イエスはこの話を通して人が悔い改めるとはどういうことなのかをはっきりと説明しています。ルカの福音書15:11-12でイエスはこう言っています。「またこう話された。『ある人に息子がふたりあった。¹²弟が父に、「お父さん。私に財産の分け前を下さい」と言った。それで父は、身代をふたりに分けてやった。』

弟は父が死ぬ前に相続分の財産を欲しがり、異例なことにもかかわらず、父はそれぞれの分け前を息子たちに与えました。13節。「それから、幾日もたたぬうちに、弟は、何もかもまとめて遠い国に旅立った。そして、そこで放蕩して湯水のように財産を使ってしまった。」弟は自分の財産、そして相続した財産を持って遠い国に旅立ち、財産を使い果たしてしまいました。ある訳には、「パーティーや売春婦に金を費やした。」とあります。

14-15節。「何もかも使い果たしたあとで、その国に大ききんが起り、彼は食べるにも困り始めた。¹⁵それで、その国のある人のもとに身を寄せたところ、その人は彼を畑にやって、豚の世話をさせた。」彼はそこの国で、仕事を見つけ、豚の世話をしました。16節。「彼は豚の食べるいなご豆で腹を満たしたいほどであったが、だれひとり彼に与えようとはしなかった。」彼は飢え死に寸前までにお腹がすき、「豚の餌でも何でも下さい」と乞うたのですが、誰も何も与えてくれませんでした。そこで彼は財産をすべて浪費してしまいました。17節。「しかし、我に返ったとき彼は、こう言った。『父のところには、パンのあり余っ

ている雇い人が大ぜいいるではないか。それなのに、私はここで、飢え死にしそうだ。』ある訳は、「本心に立ち返った」とあります。すなわち、父の雇い人たちには余るほどの食べ物があるのに、彼は飢え死に寸前でした。

彼は決心をし、悔い改めました。悔い改めるとは考えを変え、心を変えて、新しい方向へと向き進むことです。18-19節。「立って、父のところに行って、こう言おう。『お父さん。私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。¹⁹もう私は、あなたの子と呼ばれる資格はありません。雇い人のひとりにしてください。』」「お父さん、私を雇い人のひとりにして下さい。私は罪を犯し、あなたの資産を浪費し、神に対して罪を犯しました。私を雇い人のひとりにして下さい。」そして、彼は立ち、父のもとに帰りました。悔い改めるとは単に態度、考え、心を変えることだけではなく、その人が信じていることが行動に現れ、方向を変えて新しい道を歩んでいくことです。私たちは皆、父である神に、そして故郷である天国に背を向けました。イザヤ書53:6にはこう記されています。「私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。」神はその憐れみにより、私たちの罪を取り除き、イエスにその罪を背負わせました。

話は、20-24節に続きます。「こうして彼は立ち上がって、自分の父のもとに行った。」ある夜、私はこのたとえ話を知らないある男性と話をしていました。この人はこの息子が戻った時、「息子よ、とんでもないことをしてくれた。お前は私の財産、私が蓄えた資産全部を浪費してしまった。雇い人のひとりになれ。」とこの父が言うであろうと思っていました。殆どの父親なら当然憤慨して、このような態度を取るでしょう。しかし、この父親の態度に注目してみましょう。「ところが、まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけ、かわいそうに思い、走り寄って彼を抱き、口づけした。²¹息子は言った。『お父さん。私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。もう私は、あなたの子と呼ばれる

レッスン6

資格はありません。』²²ところが父親は、しもべたちに言った。『急いで一番良い着物を持って来て、この子に着せなさい。それから、手に指輪をはめさせ、足にくつをはかせなさい。²³そして肥えた子牛を引いて来てほふりなさい。食べて祝おうではないか。²⁴この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっていたのが見つかったのだから。』パーティーが始まりました。

イエスが何を言おうとしたかわかった男性は、言いました。「もし私が恵深い天なる父に戻り、『お父さん、私はあなたに対して、罪を犯しました。私はあなたの息子と呼ばれる価値はありません』と、天の神の憐れみを求めたならば、神はそういう私を受け入れてくださるでしょう。」これに対して、「我々の天なる父は憐れみ深く、あなたを奴隷などにしなくて、あなたを神の完全な息子としての権利を回復してくださるでしょう。」と答えました。

あなたは神に背を向けていませんか？あなたの父である神とあなたの故郷である天国へ、返ってはどのようにですか？

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. 悔い改めとは何でしょうか? _____

2. ルカの福音書13:1-5を読みましょう。滅びないためには何をすれば良いのでしょうか? _____

ルカの福音書13:1-5「ちょうどそのとき、ある人たちがやって来て、イエスに報告した。ピラトがガリラヤ人たちの血をガリラヤ人たちのささげるいけにえに混ぜたというのである。²イエスは彼らに答えて言われた。「そのガリラヤ人たちがそのような災難を受けたから、ほかのどのガリラヤ人よりも罪深い人たちだったとでも思うのですか。³そうではない。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。⁴また、シロアムの塔が倒れ落ちて死んだあの十八人は、エルサレムに住んでいるだれよりも罪深い人たちだったとでも思うのですか。⁵そうではない。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。」

3. ペテロの手紙第二3:9を読みましょう。全人類のための神の意志とは何でしょうか? _____

ペテロの手紙第二3:9「主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」

4. ルカの福音書16:19-31を読みましょう。ルカの福音書16:28では、なぜ金持ちは死んだ者の中から彼の兄弟たちのところに行って、言い聞かせて欲しいと願ったのでしょうか？ _____

5. ルカの福音書16:30を読みましょう。この苦しみ場所(地獄)へ来ないためには、この兄弟たちは何をすべきでしょうか？ _____

ルカの福音書16:19-31「ある金持ちがいた。いつも紫色の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。²⁰ところが、その門前にラザロという全身おできの貧しい人が寝ていて、²¹金持ちの食卓から落ちる物で腹を満たしたいと思っていた。犬もやって来ては、彼のおできをなめていた。²²さて、この貧しい人は死んで、御使いたちによってアブラハムのふところに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。²³その金持ちは、ハデスで苦しみながら目を上げると、アブラハムが、はるかかなたに見えた。しかも、そのふところにラザロが見えた。²⁴彼は叫んで言った。『父アブラハムさま。私をあわれんでください。ラザロが指先に水を浸して私の舌を冷やすように、ラザロをよこしてください。私はこの炎の中で、苦しくてたまりません。』²⁵アブラハムは言った。『子よ。思い出してみなさい。おまえは生きている間、良い物を受け、ラザロは生きている間、悪い物を受けていました。しかし、今ここで彼は慰められ、おまえは苦しみもだえているのです。²⁶そればかりでなく、私たちとおまえたちの間には、大きな淵があります。ここからそちらへ渡ろうとしても、渡れないし、そこからこちらへ越え

てくることもできないのです。』²⁷彼は言った。『父よ。ではお願いです。ラザロを私の父の家に送ってください。』²⁸私には兄弟が五人ありますが、彼らまでこんな苦しみのある場所に来ることのないように、よく言い聞かせてください。』²⁹しかしアブラハムは言った。『彼らには、モーセと預言者がいます。その言うことを聞くべきです。』³⁰彼は言った。『いいえ、父アブラハム。もし、だれかが死んだ者の中から彼らのところに行ってやったら、彼らは悔い改めるに違いありません。』³¹アブラハムは彼に言った。『もしモーセと預言者との教えに耳を傾けないのなら、たといだれかが死人の中から生き返っても、彼らは聞き入れはしない。』』

6. 使徒の働き26:18を読みましょう。この箇所では、明確ではありませんが、悔い改めについて述べられています。悔い改めた人たちには何が起こるのでしょうか？ _____

使徒の働き26:18「それは彼らの目を開いて、暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、わたしを信じる信仰によって、彼らの罪の赦しを得させ、聖なるものとされた人々の中にあつて御国を受け継がせるためである。』

7. 使徒の働き26:20を読みましょう。この箇所の後半で、異邦人がすべき3つのことが記されています。この3つの事とは何でしょうか？ _____

レッスン6

使徒の働き26:20「ダマスコにいる人々をはじめエルサレムにいる人々に、またユダヤの全地方に、さらに異邦人にまで、悔い改めて神に立ち返り、悔い改めにふさわしい行いをするようにと宣べ伝えて来たのです。」

8. マタイの福音書7:21-23を読みましょう。神の意志を継がないでこの人達は何をしたとイエスは言っているのでしょうか? _____

マタイの福音書7:21-23「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。²²その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう、『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか。』²³しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』」

9. 本当の悔い改めと、ただの口先だけの悔い改めの違いの重要性について、この箇所は何を教えているのでしょうか? _____

10. イザヤ書55:7を読みましょう。悪者は何をするべきでしょうか? _____

11. 不法もの(義とされていない者)は2つの何をするべきでしょうか? _____

12. この2つのことをした人達に対して、神は何をして下さるのでしょうか? _____

イザヤ書55:7「悪者はおのれの道を捨て、不法者はおのれの

はかりごとを捨て去れ。主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる。私たちの神に帰れ。豊かに赦してくださるから。」

13. ルカの福音書15:7を読みましょう。一人の罪人が悔い改めると、天はどのような反応を示すのでしょうか？ _____

ルカの福音書15:7「あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のない九十九人の正しい人にまさる喜びが天にあるのです。」

14. 使徒の働き3:19を読みましょう。もしあなたが悔い改め、改心したならば、あなたの罪はどうなるのでしょうか？ _____

使徒の働き3:19「そういうわけですから、あなたがたの罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。」

レッスン7

神に自分を委ねること

ドン・クロウ

ルカの福音書14:25-26「さて、大ぜいの群衆が、イエスといっしょに歩いていたが、イエスは彼らのほうに向いて言われた。²⁶『わたしのもとに来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、そのうえ自分のいのちまでも憎まない者は、わたしの弟子になることができません。』」

「さて、大ぜいの群衆が、イエスといっしょに歩いていたが、」（ルカの福音書14:25）イエスが伝道活動をされていたこの時期には、大勢の群衆が彼に従っていました。英語の訳には示されていませんが、原語ギリシャ語ではこの言葉は半過去形（動作が進行中であることを示す時に使われる）になっています。この時期に、大勢の群衆が繰り返し、絶え間なく、イエスのあとを追っていたということです。奇跡のせいなのか、食事を振る舞ったせいなのか、理由はわかりませんが、大勢の群衆がイエスの後をついて回りました。その時、群衆がイエスから離れて、ついて来ない原因を作るかのようにイエスは説教をしました。

「わたしのもとに来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、そのうえ自分のいのちまでも憎まない者は、わたしの弟子になることができません。」（ルカの福音書14:26）この箇所を読み、「憎むとはどんな意味なのでしょう？多分少しだけ愛するという意味なのでしょう？そんな意味ではないですね」と、思いました。しかし、もっと勉強するにしたい、この言葉は本当に「憎しみ」という意味だということがわかりました。

イエスは教えを強調するために、もっと強い意味の言葉を使いました。自分の父、母、姉妹、兄弟、自分の命さえを憎まない限り、弟子になることはできないとイエスは言いました。ここであなたに質問した

と思います。あなたにとってこの地上において一番親密な人との絆とは何でしょうか？母または父との絆、それとも夫婦や子供との絆でしょうか？もしあなたの妻があなたに逆らって離婚したらどうしますか、又はあなたの母や父が亡くなったらどうしますか？誰があなたのそばに付き添ってくれるのでしょうか？あなたの兄弟姉妹たちでしょう。イエスは言われました、彼らを憎まなければ、私の弟子にはなれません。一体イエスは何を言おうとしているのでしょうか？

イエスは私たちが経験する最も親密な関係のことを言おうとしているのです。神はあなたが献身することを願っています、神が優位である献身を。あなたの人生の中で神が一番優位であることを望んでいます。神とあなたとの関係と、あなたの一番密接な関係とを比べているのです。「憎む」とは言葉を比較する比喩の一種で、「あなたとの絆があまりにも大切なので、この世の誰との関係より一段と強い絆であって欲しい」と、イエスは言っています。あなたの妻よりも、子供よりも、母よりも、父よりも、兄弟姉妹よりも、もっと大切な人がいます。それは誰なのか知っていますか？神ではありません。それはあなた自身なのです。あなたには親密な関係にある誰よりも自分が一番大切なわけです。

なぜ結婚が破れるのでしょうか？なぜ離婚するのでしょうか？それは、相手を愛するよりも、自分をもっと愛するからです。「あなたは私にして欲しいことを、してくれていないので、出て行って下さい。」

自己中心を含むすべてを上回る、一番大切な交わりがあるとイエスは言いました。これが本当の弟子になるということです。これは単に無償で弟子になることではありません。イエスは私たちが彼に従がうことを求めておられるのです。私たちの人生の中においてイエスが一番の位置を占めることを求めているのです。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. ルカの福音書9:57-62を読みましょう。キリストに従うことの献身のレベルについてこの箇所は何を教えているのでしょうか？

ルカの福音書9:57-62「さて、彼らが道を進んで行くと、ある人がイエスに言った。「私はあなたのおいでになる所なら、どこにでもついて行きます。」⁵⁸すると、イエスは彼に言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巣があるが、人の子には枕する所ありません。」⁵⁹イエスは別の人に、こう言われた。『わたしについて来なさい。』しかしその人は言った。『まず行って、私の父を葬ることを許してください。』⁶⁰すると彼に言われた。『死人たちに彼らの中の死人たちを葬らせなさい。あなたは出て行って、神の国を言い広めなさい。』⁶¹別の人はこう言った。『主よ。あなたに従います。ただその前に、家の者にいとまごいに帰らせてください。』⁶²するとイエスは彼に言われた。『だれでも、手を鋤につけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくありません。』」

2. ルカの福音書8:13-14を読みましょう。なぜある人々はキリスト教から身を引いて、離れていくのでしょうか？ _____

ルカの福音書8:13-14「岩の上に落ちるとは、こういう人たちのことです。聞いたときには喜んでみことばを受け入れるが、根がないので、しばらくは信じていても、試練のときになると、身を引いてしまうのです。¹⁴いばらの中に落ちるとは、こういう人たちのことです。みことばを聞きはしたが、とかくしているうちに、この世の心づかいや、富や、快樂によってふさがれて、実が熟するまで

にならないのです。」

3. エゼキエル書16:8を読みましょう。神はご自身と人間との交わりを結婚を通じて示して下さいます。この交わりにおいて人は誰の所有者になるのでしょうか？ _____

エゼキエル書16:8「わたしがあなたのそばを通りかかってあなたを見ると、ちょうど、あなたの年ごろは恋をする時期になっていた。わたしは衣のすそをあなたの上に広げ、あなたの裸をおおい、わたしはあなたに誓って、あなたと契りを結んだ。一神である主の御告げ—そして、あなたはわたしのものとなった。」

4. コリントへの手紙第一6:19を読みましょう。あなたは誰に連なるのでしょうか？ _____

コリントへの手紙第一6:19「あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか」

5. コリントへの手紙第一6:20を読みましょう。あなたの体と霊は誰に連なるのでしょうか？ _____

コリントへの手紙第一6:20「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。」

6. ヤコブの手紙4:4を読みましょう。神に対して霊的な姦淫を犯すことは可能でしょうか？ _____

ヤコブの手紙4:4「貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友になりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。」

レッスン7

7. ローマ人への手紙1:25を読みましょう。神の目から見て、靈的姦淫とはどういうことを意味するのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙1:25「それは、彼らが神の真理を偽りと取り換え、造り主の代わりに造られた物を拝み、これに仕えたからです。造り主こそ、とこしえにほめたたえられる方です。アーメン。」

8. ヨハネの福音書2:23-25を読みましょう。これらの箇所から献身と信仰について何を学ぶことができますか？ _____

ヨハネの福音書2:23-25「イエスが、過越の祭りの祝いの間、エルサレムにおられたとき、多くの人々が、イエスの行われたしるしを見て、御名を信じた。²⁴しかし、イエスは、ご自身を彼らにお任せにならなかった。なぜなら、イエスはすべての人を知っておられたからであり、²⁵また、イエスはご自身で、人のうちにあるものを知っておられたので、人についてだれの証言も必要とされなかったのである。」

9. ルカの福音書14:28-30を読みましょう。イエスに従うということは犠牲を払うということを理解していますか？あなたはイエスに従いたいと願っていますか？ _____

ルカの福音書14:28-30「塔を築こうとするとき、まずすわって、完成に十分な金があるかどうか、その費用を計算しない者が、あなたがたのうちひとりでもあるでしょうか。²⁹基礎を築いただけで完成できなかつたら、見ていた人はみな彼をあざ笑って、³⁰『この人は、建て始めはしたものの、完成できなかった』と言うでしょう。」

レッスン8

水による洗礼

ドン・クロウ

質問:「洗礼を受けなければ天国に行けないのかどうか知りたいと思います。私は神を愛し、7歳の時に洗礼を受けました。私は今18歳です。単立教会の一員から、小さい子供は救いを経験したり洗礼を受けることはできないということを言われました。また洗礼を受けなければ、天国には行けないということも言われましたが、私の通っているバプテスト教会の人はそうではないと言いました。私は天国にぜひ行きたいのです。私は神のために生きているのですが、大人になった段階で、もう一度洗礼を受けなければいけないのか知りたいのです。今すぐにでも教えてください。ありがとうございます。」

応答:救いと罪の赦しはイエスキリストを信じる信仰によって無料のギフトとして与えられます。「イエスについては、預言者たちもみな、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる、とあかししています。」(使徒の働き10:43)救いは信仰によって与えられます。すなわち、イエスへの信仰、信頼と、イエスの流された血によって、神の前に正しい者とされるのです。使徒の働き10:44-48によりますと、水による洗礼を受ける前に、聖霊が信じる者の上にと下ったとあります。(救いを認識するために)

たとえこのことが事実であったとしても、洗礼を受ける時に罪の赦しがあることもあるのです。(使徒の働き2:38)なぜならば、洗礼は、その人が悔い改めて、信仰を持ってイエスを救い主として受け入れたという信仰の表明、または、行為であるからです。(信じてバプテスマを受ける者は、救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。マルコの福音書16:16)これは主を呼び求める、明らかな

レッスン8

自覚の行為であります。(使徒の働き22:16、ペテロの手紙第一3:21)

7歳の時に本当に心を入れかえて、洗礼を受けたなら、神はあなたの、その子供ながらの信仰を受け入れるでしょう。水による洗礼を受けるにはそれに必要な条件があります。その一つは悔い改めです。悔い改めて、心の方向転換をすることによって罪から解放され、赦される結果となったのでしょうか?(使徒の働き2:38、20:21、17:30) イエスを主なる救い主として、信仰によって歩んでいるのでしょうか?(マルコの福音書16:16、ヨハネの福音書3:16、ローマ人への手紙10:9-10)もしそうでなければ、今すぐに立ち返りましょう、罪を悔い改め、恵みによって赦され、そして洗礼を受けることによってこの決心を確実なものとしましょう。

洗礼とは、イエスに対しての信仰を表わす行為です。この信仰なしでは、この行為は無意味なのです。イエスを主なる救い主として受け入れた者はこの信仰を表わし、公共の場でイエスを主として、人目をはばからない信仰の行為を表明するのです。イエスを否定する者は、死んだ信仰を示しているのです。**信仰を行為で表わすことに同意しない者の信仰は死んでいます。**(ヤコブの手紙2:18-19)信仰のみで救われるのです、しかし行ないのない信仰のみだけではありません。信仰は行ないを持って表われます。洗礼はその信仰を表現する行為です。**洗礼を受けることにより救われるではありません、イエスキリストを信じることのみによって救われるのです。**水は罪を洗い去りません、イエスキリストの流された血が罪を洗い去るのです。しかし信仰によってキリストの血があなたに注がれるのです、そしてこの信仰が洗礼を受けるという行為に表われるのです。(使徒の働き22:16)さて、あなたは悔い改めたでしょうか? イエスキリストを信じますか? なぜ遅らせているのでしょうか。立ち上がり、そして洗礼を受けましょう。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. 若い男性がここで尋ねていることは何でしょうか？ _____

2. 使徒の働き10:43によりますと、救いはどのようにして私たちに到達するのでしょうか？ _____

使徒の働き10:43「イエスについては、預言者たちもみな、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる、とあかししています。」

3. 洗礼とは救いの時にその信仰を表現する行為です。使徒の働き2:38はこの真理をどのように表現しているのでしょうか？ _____

使徒の働き2:38「そこでペテロは彼らに答えた。『悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。』」

4. マルコの福音書16:16はこの真理をどのように表現しているのでしょうか？ _____

マルコの福音書16:16「信じてバプテスマを受ける者は、救わ

レッスン8

れます。しかし、信じない者は罪に定められます。」

5. 洗礼は神の名を呼ぶ一つの手段です。使徒の働き22:16はこの真理をどのように表現しているでしょうか？ _____

使徒の働き22:16「さあ、なぜためらっているのですか。立ちなさい。その御名を呼んでバプテスマを受け、自分の罪を洗い流しなさい。」

6. 洗礼は正しい良心を得るために神の名を呼ぶ手段の一つです。ペテロの手紙第一3:21はこの真理を裏付けていますか？ _____

ペテロの手紙第一3:21「そのことは、今あなたがたを救うバプテスマをあらかじめ示した型なのです。バプテスマは肉体の汚れを取り除くものではなく、正しい良心の神への誓いであり、イエス・キリストの復活によるものです。」

7. 使徒の働き2:38によりますと、洗礼を受ける時の条件とは何でしょうか？ _____

使徒の働き2:38「そこでペテロは彼らに答えた。『悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。』」

8. マルコの福音書16:16によりますと、洗礼を受ける時の条件とは何でしょうか？ _____

.....

マルコの福音書16:16「信じてバプテスマを受ける者は、救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。」

9. 幼児は悔い改めることができるでしょうか? _____
 10. 幼児は信じることができるでしょうか? _____
 11. 使徒の働き10:43-48を読みましょう。キリストを信じることについて、次に信者としてすることは何でしょうか? _____
- _____

使徒の働き10:43-48「すべての預言者たちは、彼の名前によって、彼を信じる者は誰でも罪の赦しを受けることを目撃する。⁴⁴ペテロがなおもこられのことばを話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった。⁴⁵割礼を受けている信者で、ペテロといっしょに來た人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いた。⁴⁶彼らが異言を話し、神を賛美するのを聞いたからである。そこでペテロはこう言った。⁴⁷『この人たちは、私たちと同じように、聖霊を受けたのですから、いったいだれが、水をさし止めて、この人たちにバプテスマをうけさせないようにすることができましょうか。』⁴⁸そして、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けるように彼らに命じた。彼らは、ペテロに数日間滞在するように願った。」

レッスン9

キリストによる人間のアイデンティティ ー(自己価値観)(パート1)

アンドリュー・ウォーマック

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(コリント人への手紙第二5:17)「キリストのうち」という言葉は新約聖書では300回以上使われています。この言葉はいつも神との力強い交わりを意味しています。一度この交わりが結ばれると、あなたは新しく生まれ変わった者となります。あるいは「新しく造られた者」とも訳されています。

これは、キリストにおける新しい自分を理解するうえに、欠かすことのできない非常に大切な事実です。これは肉体的な生まれ変わりではありません。これは体が全く変わり、容姿が変わるといった肉体的なことではありません。もし救いを受ける前に太っていたなら、救いを受けた後もダイエットをしない限りは、そのまま太っているでしょう。さらに、多くの人が本当の自分だと考えている精神的、感情的変化のことでもありません。救いを受ける前にあまり賢くなかった人は、救いを受けた後も同様な能力です、救いを受ける前と同じ多くの記憶や、考えを持ったままです。

さて聖書によりますと、第3の部分があり、肉体と魂を取り除くと、残された部分が、霊の体で、これが新しく生まれ変わります。このことを証明する聖書の言葉がパウロのテサロニケ人へあてた祈りに書かれています。「平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。」(テサロニケ人への手紙第一5:23)これによりますと、人間は霊、魂、そして

肉体で成り立っているとしています。肉体の部分は一目瞭然で、それは外側から目で確かめられる部分です。この他に、感情や精神的な部分も明らかで、聖書によるとそれは魂とされています。たとえ肉体に触れなくても、言葉は感情や精神的な面で、良くも悪くも影響するでしょう。多くの人たちは、肉体や魂の部分を理解して生活していますが、聖書はこの他に霊の部分があると記しています。

私たちの一部である霊が救いを受けることによって新しくなります。実際のところ、この部分が新しい生命を与えてくれるのです。ヤコブの手紙2:26はこう記しています。「たましいを離れたからだか、死んだものであると同様に、行いのない信仰は、死んでいるのです」この箇所によると、実際には霊が肉体に生命の息を吹きかけるのです。ここから命が与えられるのです。創世記2章で、神がアダムとエバを創造した時、アダムの肉体は完全に造られましたが、その後神は命の息を吹き込まれました。ヘブル語旧約聖書での「息を吹き込む」という言葉は私たちが使う「息」という言葉と同じで、他の箇所では「霊」という言葉に訳されています。神はアダムという肉体と魂をまず創造しましたが、次に命の息を吹き込み、生きた人間としました。霊が私たちに命を与えてくれるのです。

救われる以前、すなわち完全なる決心をしてキリストを受け入れる前に、私たちの霊は死んでいました。「1 あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって」(エペソ人への手紙2:1)救いによって生まれ変わる以前私たちは生きていましたが、「死んでいた」とは、霊が死んでいたという意味です。聖書にある死とは、現代の人々が考えるように、存在しなくなったということではありません。厳密な意味は「離れる」です。人の肉体が死ぬ時、存在しなくなったではありません。死後すぐに神のみもと又は地獄に行くと言書は教えています。魂と霊は生き続けますが、死んで腐る体からこれらが離れるのです。

「しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」(創世記2:17)この箇所の死と

レッスン9

は肉体的ではなく、霊的な死で、神から離れた存在となったのです。神が息を吹き込んだ霊、それが生命と生きる力を与えてくれるのです。この霊が神の超自然である、聖なる、そして完全なる生命(すなわち聖書でいうギリシャ語のゾーイ生命又は絶対なる、あるいは豊かな命)から離れたのです。次に人類は退化し始めました。人として機能してはいましたが、神から離れ、独立した形で機能したのです。この事実が感情のストレスなど、人生の問題の原因となるのです。

キリストを主として受け入れるということは、新しい霊を受け入れ、生まれ変わることであることをイエスはヨハネの福音書3:5において記しています。同様に、人は霊と、魂と肉体を持って生まれてきますが、救いによって生まれ変わる時、キリストの御霊を与えられます。ガラテヤ人への手紙4:6はこう記しています。「⁶そして、あなたがたは子であるゆえに、神は『アバ、父』と呼ぶ、御子の御霊を、私たちの心に遣わしてくださいました。」神は実際に私たちの心の中にキリストの御霊をおさめてくださいました。そのことによって私たちは新しい、意味のある人生、新しいアイデンティティー(自己価値観)を与えられ、そして霊において、私たちは全く新しい者となります。

残りのクリスチャン生活とは、霊の部分で起きたことを、精神的な部分である魂において学んでいくことです。イエスキリストを主として受け入れた段階で、3分の一の救いが完了したのです。あなたの霊が完全に生まれ変わったのです。これは永遠に生きる霊と全く同じ霊なのです。この霊は愛、喜び、平和をすでに所有し、生きる神の臨在に完全に満ちています。この霊には不足も不十分さありませんが、あなた本人がその事実を受け入れなければなりません。そのためには聖書の御言葉を勉強することがクリスチャン生活には非常に大切になるのです。あなたは全く新しい人間になったのです、しかしあなたがみ言葉の知識を得るまでは変わることができません。御霊、生命であるみ言葉を見据える時に、そして自分が誰なのかを見定め、神があなたに何をして下さったのかという事実を信じて行く時に、あなたのクリスチャン生活が勝利を得るのです。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. コリント人への手紙第二5:17を読みましょう。だれでもキリストのうちにあるなら、その人は何なののでしょうか？ _____

2. コリント人への手紙第二5:17を読みましょう。古いものはどうなったのでしょうか？ _____
3. コリント人への手紙第二5:17を読みましょう。何が新しくなったのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第二5:17「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」

4. エペソ人への手紙2:1を読みましょう。あなたが生まれ変わる前、あるいは生かされる前はどのような状態だったのでしょうか？ _____

5. エペソ人への手紙2:2を読みましょう。未信者であった時、どのように歩んでいましたか？ _____

6. エペソ人への手紙2:3-5を読みましょう。神は何に豊かであったのでしょうか？ _____
7. エペソ人への手紙2:4を読みましょう。神はなぜ憐み深いのでし

レッスン9

ようか? _____

8. エペソ人への手紙2:5を読みましょう。罪過の中に死んでいた私たちに神は何をしてくださったのでしょうか? _____

9. エペソ人への手紙2:5を読みましょう。神はどのようにして私たちを救ってくださったのでしょうか? _____

エペソ人への手紙2:1-5「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、²そのころは、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従つて、歩んでいました。³私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあつて、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。⁴しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、⁵罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、—あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです—

10. コリント人への手紙第一6:9-10を読みましょう。この箇所にリストされているものであなたの共感できるものはあるでしょうか? _____

11. コリント人への手紙第一6:11を読みましょう。「でした」とは過去、現在または未来のうちどの状態でしょうか? _____

12. コリント人への手紙第一6:11を読みましょう。あなたが生まれ変わった時、3つのことが起こりましたが、それは何でしょうか? _____

13. コリント人への手紙第一6:11を読みましょう。これは過去、現在、

キリストによる人間のアイデンティティー(自己価値観)(パート1)

未来のうちどれでしょうか? _____

コリント人への手紙第一6:9-11「あなたがたは、正しくない者は神の国を相続できないことを、知らないのですか。だまされてはいけません。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、¹⁰盗む者、貪欲な者、酒に酔う者、そしる者、略奪する者はみな、神の国を相続することができません。¹¹あなたがたの中のある人たちは以前はそのような者でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。」

14. コリント人への手紙第一6:17を読みましょう。「主と交われば、...? 霊となるのです。」 _____
-

コリント人への手紙第一6:17「しかし、主と交われば、一つ霊となるのです。」

レッスン10

キリストによる人間のアイデンティティ ー(自己価値観)(パート2)

アンドリュー・ウォーマック

前回のレッスンでは、新しく生まれ変わるという意味は、私たちの霊、そして心が変わることだということを話しました。「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(コリント人への手紙第一5:17)それにより新しく生まれ変わる時は、私たちの霊においてが完全に転換する事を理解し始めました。そして、私たちはこの起きた事を、み言葉を通してのみ確信できるのです。この事実は外見を見ただけではわかりませんし、精神的レベルにある感情を通して感じることもできません。しかし、霊の部分で完全なる転換が起こります。

ここで、人がイエスキリストを受け入れ、救われる時に何が起こるのかを示すみ言葉を読んで見ましょう。「真理に基づく義と聖をもって神にかたどり造り出された、新しい人を身に着るべきことでした。」エペソ人への手紙4:24。人が生まれ変わる時、霊が義とされ、まことに聖となるのです。聖書は二種類の義があると教えています。

人が自分の行動で作り出す義、そしてこの義は人間関係の中で保っていかなければならないのです。正しく生きて、正しい行動をしない限り、仕事場で首になったり、離婚されたりするので、自分の義を保っていかなければならないのです。しかし、神は外見上の義だけであなただけを受け入れることはしません。神はまったくそのまま神ご自身の義をあなたにお与えになったのです。

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。」

キリストによる人間のアイデンティティー(自己価値観)(パート2)

それは、私たちが、この方であって、神の義となるためです。」(コリント人への手紙第二5:21)ということは、単なる外見上の義を上回る義があり、それは神ご自身の行動をもとにしたものなのです。私たちはまさにキリストを信じる信仰によってこの義を授かったのです。私たちは義となる者そして聖なる者に生まれ変わりました。義を目指して歩むことではないのです。すでに義とされたのです。簡単に言えば、私たちはすでに神の前において正しい者とされたのです。

神はキリストの行いにおいてのみ私たちに満足しておられ、これ以外の何者でもありません。私たちの霊の部分が変わったのです。私たちはすでに義とされ、聖なる者とされ、まったく新しく創造された者なのです。「私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスであって造られたのです。…」エペソ人への手紙2:10。霊の部分で、私たちは完璧で完全なのです。それは罪も欠陥も、もうありません。「…またそれを信じたことにより、約束の聖霊をもって証印を押されました。」エペソ人への手紙1:13。

「キリストを初めて信じた当時、自分は罪から完全に解放され洗われたことを心から信じ、すべてうまくいきました。しかしそれ以来また罪を犯し、神を失望させました。」とと思っている方がいるでしょう。それが本当なら、精神的そして感情的部分で自分の行動に失敗しただけで、あなたの霊は罪を犯してはいないのです。ちょうど瓶詰め of 果物を作っている時、空気や不純物が入らないようにその上部にワックスで密封する時のように、霊は封印されました。神があなたに証印を押されたのです。新しく生まれ変わった時、新しい霊を与えられ、もう罪はその霊に侵入出来なくなりました。あなたは新しい自分となりました。神との正しい関係を持つためには、肉体の部分ではなく、霊の部分で神との交わりを持ち、かつ神を礼拝しなければなりません。

この事実はクリスチャン生活に、自分の自己認識を変えなければならないという、大きな転換をもたらせるのです。あなたの行動や思うことといった肉体や感情のレベルではなく、神があなたにして下さった事柄を

レッスン10

もとに、生まれ変わった霊の部分で神との交わりを持つべきです。これは神の完全な働きで、不動の事実です。あなたは新しく義とされ、まったく聖なる者とされたのです。これがあなたの霊の部分であり、神との交わりを持つ時、霊とまことによって神を礼拝しなければなりません。キリストにあっての自分は誰なのかをしっかりと認識しなければなりません。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. コリント人への手紙第一6:17を読みましょう。霊での完全なる転換が起きたかどうかを知る唯一の手立ては聖書のみ言葉のみによります。この箇所では何が起きたのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第一6:17「しかし、主と交われば、一つ霊となるのです。」

2. エペソ人への手紙3:17を読みましょう。キリストは今どこに生きているのでしょうか？ _____
3. エペソ人への手紙3:17を読みましょう。どのようにして起きたのでしょうか？ _____

エペソ人への手紙3:17「こうしてキリストが、あなたがたの信仰によって、あなたがたの心のうちに住んでいてくださいますように。また、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、」

4. ヨハネの手紙第一5:12を読みましょう。救いを得るためには誰を受け入れなければならないのでしょうか？ _____

ヨハネの手紙第一5:12「御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。」

5. コロサイ人への手紙1:26-27を読みましょう。多くの世代にわたって隠されていて、いま現された事とは何でしょうか？ _____

コロサイ人への手紙1:26-27「これは、多くの世代にわたって隠さ

レッスン10

れていて、いま神の聖徒たちに現された奥義なのです。²⁷神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあってどのように栄光に富んだものであるかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。」

6. エペソ人への手紙4:23-24を読みましょう。義と聖をもって造られたものとは何でしょうか? _____

エペソ人への手紙4:23-24「またあなたがたが心の霊において新しくされ、24 真理に基づく義と聖をもって神にかたどり造り出された、新しい人を身に着るべきことでした。」

7. コリント人への手紙第二5:21を読みましょう。私たちは誰の義を所有しているのでしょうか? _____

コリント人への手紙第二5:21「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。」

8. エペソ人への手紙1:4を読みましょう。神の御前での聖徒たちの位置(状態)とは何でしょうか? _____

エペソ人への手紙1:4「すなわち、神は私たちが世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。」

9. エペソ人への手紙1:6を読みましょう。どのようにして私たちは受け入れられるのでしょうか? _____

エペソ人への手紙1:6「それは、神がその愛する方において私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。」

レッスン11

クリスチャンが罪を犯すとどうなるのか？

ドン・クロウ

きょうは「クリスチャンが罪を犯すとどうなるか？」について話していきましょう。聖書はこのように言っています。「もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。⁹もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」(ヨハネの手紙第一1:8-9)クリスチャンとして、私たちはいずれつまずき、罪を犯します。生まれ変わる前と違う点は、今は新しい自分だという事です。罪を犯すことは、私たちに嘆きをもたらせます。罪は犯したくはありませんし、正しい生き方をしたいと願っています。しかし罪を犯した場合どうなるのでしょうか？再び救いを受けなければならぬのでしょうか？聖書はそのように教えているのでしょうか？もしそうならば、安定に欠け、いわば、この世に住む人たちの状況よりも劣ります。少なくともこの世の人たちは罪の意識に苦しんではいません。信者として、罪に重点を置くべきではありません。「もしそれができたのであったら、礼拝する人々は、一度きよめられた者として、もはや罪を意識しなかったはずであり、したがって、ささげ物をするのは、やんだはずです。」ヘブル人への手紙10:2。言いかえれば、罪が生活の焦点になるべきではないのです。神が焦点になるべきです。

「もしアブラハムが行いによって義と認められたのなら、彼は誇ることができません。しかし、神の御前では、そうではありません。」ローマ人への手紙4:2。もし救いが私たちの功績と、行いによるのなら、私たち自身自慢することになります。「神様、十字架の上での働き、ありがたいのですが、私のしたことも覚えていますか？」と、言えるでしょう。永遠の過程において、イエスと自分たちがよくやったと言わんばかりに背中をたたくのです。そうではありません。神が計画された救いとは、誇り

レッスン11

と栄光を人間に帰するものではありません。(ローマ人への手紙3:27) 永遠の命という賜物とは、まことの賜物であり、私たちの行いによって得られるものではありません。

ローマ人への手紙4:2によると、もしアブラハムが自分の行いによって義と認められたのなら、彼は誇ることができましたが、そうではなかったのです。み言葉は人間がどうしたら救われると教えているのでしょうか？自分の行いによるのでしょうか？自分の働きによるのでしょうか？自分のしていることによるのでしょうか？アブラハムはどのようにして義とされ、または義と宣言されたのでしょうか？彼の行ったこと、または、行わなかったことによったのでしょうか、それとも彼が信仰を持って神を信じ、信用し、かつ信頼したからでしょうか？「聖書は何と言っていますか。『それでアブラハムは神を信じた。それが彼の義とみなされた』とあります。」ローマ人への手紙4:3。

失敗や罪を犯すことにもかかわらず、何が今の霊の状態を保ち、滅びから守ってくれるのでしょうか？これはイエスキリストが十字架にかかって私の罪を背負って下さり、イエスキリストの信仰を通して(自分の行いではなく)、正しくされることです(神のみ前に義とされる)。

「ダビデもまた、行いとは別の道で神によって義と認められる人の幸いを、こう言っています。」ローマ人への手紙4:6。旧約聖書のダビデは、神との新しい契約を通して人間の行いにもかかわらず、神に義とされ、み前に正しい者として立つ日が来ると言っています。さらに7節では、「不法を赦され、罪をおおわれた人たちは、幸いである。」とあります。そして8節「主が罪を認めない人は幸いである。」これが決め手です。この箇所では、「主が罪を許さないかもしれない」、あるいは「主が罪を時々許すかもしれないし、また時々許さないかもしれない」と言っているわけではありません。確かに「主が罪を認めない人は幸いである。」とあります。これはギリシャ語での強調否定にあたります。その意味は神は絶対に、いかなる時にも、私たちに罪を負わせません。これが新しい契約での良い知らせなのです。「『それらの日の後、わ

.....クリスチャンが罪を犯すとどうなるのか？

たしが彼らと結ぼうとしている契約は、これであると、主は言われる。わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いに書きつける。』またこう言われます。』（ヘブル人への手紙10:16）さらに、この契約の一部は17節にこう書かれています、「わたしは、もはや決して彼らの罪と不法とを思い出すことはしない。」

たとえあなたが罪を犯してその罪を告白する時間がないときでも、あなたの義と、み前に正しく立ったという立場を、何が支えてくれるのでしょうか？それはイエスキリストにあっての、あなたの信仰です。その名はイエスであり、そしてこの方が人間を罪から救ってくださるのです。（マタイの福音書1:21）。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. ローマ人への手紙4:5を読みましょう。神はどのような人を正しい(義とする)とされるのでしょうか? _____

ローマ人への手紙4:5「何の働きもない者が、不敬虔な者を義と認めてくださる方を信じるなら、その信仰が義とみなされるのです。」

2. ローマ人への手紙4:2-3を読みましょう。神はアブラハムの口座(彼が信じた時)に今まで持っていなかったものを入れました。それは何だったのでしょうか? _____

ローマ人への手紙4:2-3「もしアブラハムが行いによって義と認められたのなら、彼は誇ることができます。しかし、神の御前では、そうではありません。³聖書は何と言っていますか。『それでアブラハムは神を信じた。それが彼の義とみなされた』とあります。」

3. ローマ人への手紙4:22-24を読みましょう。もし私たちがアブラハムと同じように信じたらば、神は私たちの口座に何を入れてくれるのでしょうか? _____

ローマ人への手紙4:22-24「だからこそ、それが彼の義とみなされたのです。²³しかし、『彼の義とみなされた』と書いてあるのは、ただ彼のためだけでなく、²⁴また私たちのためです。すなわち、私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じる

.....
クリスチャンが罪を犯すとどうなるのか？

私たちも、その信仰を義とみなされるのです。」

4. ローマ人への手紙4:6を読みましょう。神は義(正しき者としてみ前に立つ)を口座に入れてくださいます ...? _____

- _____
- A. 行いによって
 - B. 行いに関係なく
 - C. 良い人間かどうか

ローマ人への手紙4:6「ダビデもまた、行いとは別の道で神によって義と認められる人の幸いを、こう言っています。」

5. ヘブル人への手紙10:14を読みましょう。いつまで信者は神のみ前で完全な者としていられるのでしょうか? _____

ヘブル人への手紙10:14「キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。」

6. ローマ人への手紙5:17を読みましょう。義が与えられるのは ...?

- _____
- A. 稼ぐことによって
 - B. ギフトとして
 - C. 行いによって

ローマ人への手紙5:17「もしひとりの違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりのイエス・キリストにより、いのちにあって支配するのです。」

レッスン11

7. 「ギフト」とは、ここではどのような意味合いがあるのでしょうか？

8. イエスがあなたの救い主として信頼するということは、どこまで信じれば良いのでしょうか ...？

- A. 教会まで
- B. 天国まで
- C. ロシアまで

レッスン12

完全完璧な神のことば

アンドリュー・ウォーマック

マルコの福音書4章は神のことばがいかに完全完璧であるかを示した大切な章です。一力、人格、信仰などにおいてです。この日1日だけで最低10のたとえ話がされています。それにはマタイの福音書13章とルカの福音書8章をこのマルコの福音書4章と照らし合わせる必要があります。いくつかのたとえ話のうちの一つは、種を蒔く人のたとえ話です。「また言われた。「神の国は、人が地に種を蒔くようなもので、」マルコによる福音書4:26。14節では、この種は神のことばだと説いています。神はどのようにして農夫になれるのかを教えているのではありません、しかしこのような自然を用いて、霊的な真理を説明しています。「夜は寝て、朝は起き、そうこうしているうちに、種は芽を出して育ちます。どのようにしてか、人は知りません。」マルコの福音書4:27。これは重要なことです。人はこの事実を理解していないと言っています。どのようにしてこうなるのか分かっていないのです。

ある人はこう言います。「何の話かさっぱり分かりません。みことばを読むことによってどうして私が本当に変わったり、それが原因でどうして神の命が私の中に生きるのでしょうか？」私も全てを理解しているわけではありませんが、そのようになることは確かです。私はどのようにして、小さな種を土に蒔くことによってトウモロコシの茎と共にトウモロコシが育ち、さらにそれが100倍のトウモロコシの収穫におよぶのか、よく分かりません。この過程は誰にもよく理解できてはいませんが、まさにこの通りで、神のみことばもまたこのように働くのです。神のことばを読んで、それを浸透させて行くことによって、あなたの態度、体験、そして認識が変わっていきます。

「地は人手によらず実をならせるもので…」マルコの福音書4:28。

土は種を培養し、発芽させ、そしてその命を放つように造られました。あなたの心は神のこぼのために造られました。本当にそうだったのです。神のこぼは、あなたの心に住むように造られたのです。聖書を手にとって胸に抱いたり、テーブルの上に置いたり、持ち歩いたりしても何の得にもなりません。そのようなことは、あなたの人生において何の力も発揮しないのです。みこぼを種としてあなたの心に植え付けなければなりません。そうする時に、あなたの心自体が実を結ぶようにデザインされているのです。それはあなたの人生に自動的な変化をもたらせます。「初めに苗、次に穂、次に穂の中に実が入ります。」と、28節は続けています。ここでは、成熟するまでの過程には段階または行程があるという意味を含んでいます。人々はよく私の所に来て、神が何か素晴らしいことを私のために用意して下さるに違いないと言います。それに対して、私も同感です。しかし、今までに何もしないで、未信者を救いに導いた経験さえもなかったら、テレビやラジオ伝道への門が数週間後に開かれることは到底ないでしょう。何事にも順序というものがあるのです。神から受け取るにはそれなりの過程があり、そのことをこのたとえ話は示しているのです。まず、始めなければいけません、希望が生まれ、それが信仰となり、最後に結果となります。勝利に到達するためにはその順序があります。一度にゼロから千マイルにスピードを出すことは誰もできません。いかに敬虔な望みであっても、そのように早く叶うことはありません。神の国は一粒の種のようにだと聖書は教えています。みこぼをあなたの心に植え付けなければなりません、そしてそれが成長するにはその過程があります：まず苗が、次に穂が、そして実がなるのです。「実が熟すると、人はすぐにかまを入れます。収穫の時が来たからです。」29節。いくつかの行程がありますが、いずれ実りの多い収穫がやってきます。

この要点は35節に示されています。「さて、その日のこと、夕方になって、イエスは弟子たちに、『さあ、向こう岸へ渡ろう』と言われた」。イエスは一日中、神のこぼがどんなに力のあるものか、そして神のこぼが種のように、それがどのように神のいのちを、あなたの人生にとき放つかを教えていました。イエスは少なくとも10のたとえ話で、

このことを教えていたので、ここで彼らを試してみました。イエスは言いました。「いいですか、これが神のことばです。それでは湖の向こう岸へ渡りましょう。」しかしイエスが言わなかったことは、「ボートに乗り、中間あたりまで行きましょう、そして溺れ死にしましょう。」そうではなく「向こう岸まで行きましょう」と言ったのです。イエスはボートに乗るとすぐに寝てしまいました。話は続き、嵐がきて、ボートは水浸しになりました。このボートが下に寝台のある客船で、イエスが濡れずに、上で何が起こっていたのかもわからなかった、というわけではありませんでした。これはオープンボートで、イエスは波のしぶきに囲まれながら寝ていたのです。この事実が非常に大切な理由は、イエスは何が起きていたか知っていながら、なおかつ眠ろうとなさったことです。弟子たちは怒りました、そしてイエスのところに来て言ったのです、「先生、私たちが死んでも構わないのですか？」すなわち彼らが言おうとしたことは、「何とかして下さい。バケツを持って来て、水を汲み出し、ボートを漕ぐなり、何とかして下さい。あなたはするべきことをしていないのです。」

人は今でも神に対して同様なことをしているのです。「神様、なぜ何もしなかったのですか？」神はすでにその何かをして下さいました。神はイエスキリストによる贖いを通して、私たちのすべての必要な物を与えて下さいました。神はそのみことばを創り、そのすべての種を私たちに下さいました。これらの種を私たちの心に蒔くことが、私たちの仕事です。神は私たちに聖書のことばを下さいました、そしてその種をとらえて、心の中に入れ、それがいのちを放つまで瞑想することが私たちの仕事です。しかし、弟子たちはイエスを起こして、「なぜ何もしないのですか？」と言いました。イエスは起き上がり、嵐と波を戒めると、穏やかになりました。イエスはふり返って、弟子たちにこう言いました。「なぜそんなに怖がるのですか？一体あなたたちには信仰がないのですか？」イエスがここで言わなかったことは、「やー皆さん、すみませんでした。何かするべきでしたね」。イエスの役割は、みことばを教え、約束を与え、そして弟子が、そのみことばを受け入れ、約束を信じることでした。神はイエスが地球に来ることによって、私たちにすべて

レッスン12

の必要を与えて下さいました。神は神のみことばを種という形で、あなたがすべての人生の分野において成功するようにして下さいました。あなたのしなければならないことは、ただ種である神のことばを受け入れ、それを読むことにより心に蒔き、瞑想し、じっくり考え、そしてそれが心に植え付けられ、根をはるようにすることです。そうすることによって、人生の試練の嵐に立ち向かうことが出来、さらにそれを防ぐことができるのです。

私の思うには、神がその日弟子たちに最も望まれたことは、イエスの教えに従い、「さあ、向こう岸に渡ろう」と言ったことです。「きょうのイエスが教えてくれたことは、神の約束です」と、言うことができたのです。向こう岸に渡ろうと言ったお方はこの宇宙の創造主で、決して途中まで行って溺れ死にしようとは言いませんでした。弟子たちはイエスのことばを受け入れ、それを信仰によって、風と波を戒めることができたのです。確かにイエスが言ったことは、「信仰の小さい者よ、どうして疑ったのですか？」でした。分かりますか？私たちに必要なことは、神のことばを信じ、それを行動に移すことです。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. マタイの福音書13:19を読みましょう。もし私たちが神のみことばを心に植え付けないと、どうなるのでしょうか？ _____

マタイの福音書13:19「御国のことばを聞いても悟らないと、悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪って行きます。道ばたに蒔かれるとは、このような人のことです。」

2. ヨシュア記1:8を読みましょう。私たちはいつ神のみことばをじっくり考えるべきでしょうか？ _____

ヨシュア記1:8「この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行うためである。そうすれば、あなたのすることによって繁栄し、また栄えることができるからである。」

3. ヨハネの福音書6:63を読みましょう。このみことばによると、神のみことばとは、何と何でしょうか？ _____

ヨハネの福音書6:63「いのちを与えるのは御霊です。肉は何の益ももたらしません。わたしがあなたがたに話したことばは、霊であり、またいのちです。」

4. マタイの福音書4:4を読みましょう。人は食べ物だけで生きるのではなく、他に何で生きるのでしょうか？ _____

マタイの福音書4:4「イエスは答えて言われた。『人はパンだけ

レッスン12

で生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』
と書いてある。」

5. エペソ人への手紙6:17を読みましょう。神のみことばはどのような武器に当たるのでしょうか? _____

エペソ人への手紙6:17「救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。」

6. 刀は敵に害を与えるでしょうか? _____

7. ローマ人への手紙8:6を読みましょう。神のみことばを私たちの生活に取り入れる時、私たちは何を心得るでしょうか? _____

ローマ人への手紙8:6「肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。」

8. コリント人への手紙第二3:18を読みましょう。私たちが注目することによって、私たちの心は満たされます。一体何に焦点を集めたら良いのでしょうか? _____

コリント人への手紙第二3:18「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」

レッスン13

神は無罪です

アンドリュー・ウォーマック

きょうは、私の人生で神がして下さった最も大切なことの中から、その一つについて話してみたいと思います。人々は、彼らに起こるすべてのことが神から来ていて、神がすべてコントロールしていると無意識に信じているようです。この理由は、語義によると、神は最高の権威者で全能なお方なので、自分たちに起こる全ては、神がコントロールしていると思いついでいるようです。クリスチャンでない人たちでさえこのように信じています。この教義を推進する多くのキリスト教信者がいますが、彼らの日々の生活の中で、この教えが深く根付いています。しかし聖書ではこれと反対のことを教えていると思います、ですからこのレッスンを学ぶことは非常に大切なことです。ヤコブの手紙1:13-17にはこう書かれています。「だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言ってはいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません。¹⁴人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。¹⁵欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。¹⁶愛する兄弟たち。だまされないようにしなさい。¹⁷すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。」

これらの箇所を読むと、すべての良いものは神が創り主であるということが明らかです。イエスはヨハネの福音書10:10でこう言いました。「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」もし良いことなら神からで、悪いことなら、悪魔からです。これは実に簡単な神学です。どうしてこれが非常に重要なことである理由は、ヤコブの手紙4:7に説明されています。「ですから、神に従いな

レッスン13

さい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。」ここでは、神に服従し、また神の支配に委ねるかして、悪魔に立ち向かいなさいと言っています。「立ち向かう」という言葉の意味は、積極的に戦いなさいということです。

人々が、人生で起こることすべてが、神からのみ来るのだ信じているならば、例えば、病気、事業の失敗、失業、子供の反抗、そして離婚など、それらが無抵抗に受け入れる立場になるわけです。もし神が彼らの置かれている状況の創り主であり、神がそれを用い、あなたを戒め、あなたを変えようとしていると信じるならば、これらに抵抗することは、神と戦うこととなります。ですからヤコブの手紙4:7は、悪魔に立ち向かいなさい、そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去りますとあります。あなたは、神に従うべきです。すなわち、ある事柄は神からで、ある事柄は悪魔からだということを示しています。この世には悪魔の勢力が働いています、ですから、すべてあなたに起こることは神から来るのではないのです。これが理解できないと、結局、あなたは悪魔に従うことになり、結果的には悪魔の力を増すことになるわけです。

ここで、ローマ人への手紙の一節を引き出してみたいと思います。というのは、この箇所は大変誤って解釈されているからです。わたしは、神のことを何も知らない、教会に行かない、そして聖書のことばをほとんど知らない人々の葬式へ出席したことがあるのですが、彼らはこの聖句だけは知っているのです。ローマ人への手紙8:28「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」人生に何事が起ころうとも、結局神がなんとかしてくれて、万事を益としてくれるのだ、という解釈がされています。実はわたしは、ある若い男子と女子の葬式に出席したことがあります。この若者たちはアルコールとヤクを服用した後、自動車に乗り、濡れた道路でスピードを出し、カーブを曲がりきれなくて、電柱にぶつかり即死しました。牧師はこの聖句を引用してこう言いました、「神はすべてのことを働かせて、良きとして下さることを私たちは知っていますから、神

は目的があつてこれをなされたのでしょ。神がこの若者たちを殺したのではありません、ある意味で、悪魔が殺したとも言えないでしょう。それは若者たち自身でした。確かに悪魔が、両親や他が教えた規則に彼らが反抗するように仕向けたのでしょ、しかし終局的には彼らを選びました。彼ら自身がヤクやアルコールを服用して、彼ら自身が電柱にぶつかったのです。これは当然当たり前のこととして起こり、神が全くその原因となつたのではありません。

「神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」とは一体どのような意味なのでしょう。か？まず始めに、すべてのものが神から来て、万事を益として下さることを知っていますとは言いません。すべてのことが働いて益となると言っていますはいますが、それには必要条件が加えられています：それは「神を愛する人々」です。このみことばは、神を愛さない者には適用されません。それは言うまでもなく明らかなのですが、人々がこのようなヤクやアルコールを使い、まったく神と神の規則に反抗した者にこの聖句を用いるとは驚くべきことです。ここで言うのは、神を愛する人々、そして神のご計画に従つて召された人々のみに適用するのです。

ヨハネの手紙第一3:8によると、「罪を犯している者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現れたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです」と書かれています。神は、悪魔のわざを滅ぼすために神ご自身を現しました。それが神の目的であつて、ですから、神を愛する人々、そして神の計画に召されている人々のみに、これが益として働くのです。すなわち、神からの召命に従う者、悪魔に抵抗する者、そしてそのわざを滅ぼそうとしている者のみにです。悪魔がどのようなことを人生の中においてしようとも、悪魔に抵抗し、神のために生きている人々には、神は事柄を転換させ、益として下さいます。

私たちは人生で起こるすべてのことを、神がコントロールしているわけではないことを、見分け始めなければいけません。敵は私たちを殺し、盗み、そして滅ぼそうとしますが、イエスは私たちに命を与えるた

レッスン13

めに来ました。私たちは命を選ぶべきです、そして人生に起こるすべての事柄に対して、神が無罪であることを意図的に認識する必要があります。

もし神が人間であり、ガン、奇形、うつ病、悲しみ、嘆きなどを人々に与えるとして非難されているとしたら、彼を逮捕して監禁するか、阻止しない政府は地球上には決してないでしょう。しかしながら、私たちは今までに出会った、または想像したどんな人よりも慈悲深い神が、これらを用いて人々を攻撃している、と考えています。ある事柄は悪魔の仕業で、ある事柄は自然現象であり、すべての災害が神の定めたものではないのです。保険会社の契約書には、地震や疫病を「神の業」と書いてあります。いいえ、神はこれらの事をなさるような創造者ではありません。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. ヤコブの手紙1:13を読みましょう。神が人間が悪魔に試されることを引き起こすのでしょうか？ _____

ヤコブの手紙1:13「だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言ってはいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません。」

2. ヤコブの手紙1:17を読みましょう。良いギフトはどこから来るのでしょうか？ _____

ヤコブの手紙1:17「すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下ります。父には移り変わりや、移り行く影はありません。」

3. ヨハネの福音書10:10を読みましょう。盗人とは誰のことでしょうか？ _____

4. ヨハネの福音書10:10を読みましょう。彼の目的は何でしょうか？ _____

5. ヨハネの福音書10:10を読みましょう。イエスの来られた目的は何でしょうか？ _____

ヨハネによる福音書10:10「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」

レッスン13

6. ヤコブの手紙4:7を読みましょう。神に服従して、悪魔に抵抗した時の結果は何でしょうか？ _____

ヤコブの手紙4:7「ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。」

7. ローマ人への手紙8:28を読みましょう。ローマ人への手紙8:28はすべてのことが神から来ると言っているのでしょうか？ _____

ローマ人への手紙8:28「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

8. 使徒の働き10:38を読みましょう。病気は神から来たのでしょうか？ _____

使徒の働き10:38「それは、ナザレのイエスのことです。神はこの方に聖霊と力を注がれました。このイエスは、神がともにおられたので、巡り歩いて良いわざをなし、また悪魔に制せられているすべての者をいやされました。」

9. ヨハネの手紙第一3:8を読みましょう。神の子が明らかにされた目的は何だったのでしょうか？ _____

ヨハネの手紙第一3:8「神の子が現れたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。」

レッスン14

聖霊に満ちた権力のある人生

ドン・クロウ

マルコの福音書16:15-16は、偉大なる使命(Great Commission-福音を世界の隅々まで宣べ伝えること)として知られています。「それから、イエスは彼らにこう言われた。『全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。¹⁶信じてバプテスマを受ける者は、救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。』使徒の働き8:5、12には、サマリヤでのピリポの説教により、この使命に従い、いかに行われたのかがわかります。「ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。...¹²しかし、ピリポが神の国とイエス・キリストの御名について宣べるのを信じた彼らは、男も女もバプテスマを受けた。」

問題は、これらのサマリヤの人々はマルコの福音書16:15-16に従ってクリスチャンになったのでしょうか？はい、なりました。ピリポはサマリヤの町に行き、キリストを宣べ伝え、そしてキリストを信じる信仰により、これらの人々は男性も女性もバプテスマを受けました。偉大なる使命によると、これらの人々はクリスチャンになったと言えるでしょう、しかし彼らは、聖霊による洗礼(バプテスマ)は受けたのでしょうか？

聖書はヨハネが水でバプテスマを授けたと言っていますが、イエスキリストのみが聖霊のバプテスマを授けることができます。みことばによりますと、人々は信じ、救われ、水による洗礼を受けましたが、聖霊による洗礼はまだ受けてはいませんでした。使徒の働き8:14-17にはこう書かれています。「さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことばを受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。¹⁵ふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。¹⁶彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受

けてただけで、聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。¹⁷ふたりが彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。」

このみことばにより明らかな事は、単に人が信じ、水の洗礼を受け、救われたというだけでは聖霊による洗礼を受けたとは言えません。聖霊が彼らの中に来て宿りました一ヨハネの福音書20:22によると、聖霊は弟子達を生き返らせました。一けれども五旬節(ペンテコスト)の日に彼らは聖霊による洗礼を受け、神から権力を与えられたのです。救われた時に霊をよみがえさせる聖霊と、聖霊による洗礼の時に個人の上を下る聖霊とは違いがあります。それは個人の上に来て、その人を聖霊に浸し、神の権限が与えられます。ですから人が救われていても、その人は聖霊による洗礼を授かったという意味にはなりません。

使徒の働き19:1-2にはこう書かれています。「アポロがコリントにいた間に、パウロは奥地を通してエペソに来た。そして幾人かの弟子に出会って、²「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねると、彼らは『いいえ、聖霊の与えられることは、聞きもしませんでした』と答えた。」パウロは尋ねました。「あなたは、信じたとき、聖霊を受けましたか」彼らは答えました。「私たちは聖霊については何も知りません。」パウロは言いました。「あなたが信じた時、聖霊によってバプテスマを受けなかったのなら、何によってバプテスマを受けたのですか？」彼らは言いました。「私たちはヨハネによるバプテスマを受けました」。わたしが思うには、パウロはイエスが救世主であることを一層完璧に説明したので、これらの信者たちは水による洗礼を通して、イエスが誰なのかを理解することができました。6-7節。「パウロが彼らの上に手を置いたとき、聖霊が彼らに臨まれ、彼らは異言を語ったり、預言をしたりした。⁷その人々は、みなで十二人ほどであった。」

これらの人たちは、救世主が来ることを信じる弟子たちでしたが、聖霊による洗礼は受けていませんでした。人は聖霊による洗礼を受けなくても、生まれ変わりの経験と、水による洗礼を受けることができます。聖霊による洗礼は、救いによる改心とは違い、全く異なった経

験なのです。

たとえわたしがその人に水によるバプテスマを施すことができても、わたしが聖霊で聖霊による洗礼を施すことはできません、イエスのみができるのです。もしあなたが今まで一度も、聖霊による洗礼が授かるようにと願い求めたことがなかったならば、今願い求めてみませんか？ルカの福音書11:13にはこう書かれています。「してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さないことがありますでしょう。」早速、きょうイエスに願い求めてみませんか？

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. マルコの福音書16:16をまず読みましょう。次に使徒の働き8:5、12を読みましょう。使徒の働き8:12に出て来る人々はクリスチャンになりましたか？ _____

マルコの福音書16:16「信じてバプテスマを受ける者は、救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。」

使徒の働き8:5、12「ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。...¹²しかし、ピリポが神の国とイエス・キリストの御名について宣べるのを信じた彼らは、男も女もバプテスマを受けた。」

2. 使徒の働き8:14-16を読みましょう。これらの人々は聖霊のバプテスマを受けましたか？ _____

使徒の働き8:14-16「さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことばを受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。¹⁵ふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。¹⁶彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けてただけで、聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。」

3. 使徒の働き19:1-5を読みましょう。これらの人々は信者でしたか？ _____

使徒の働き19:1-5「アポロがコリントにいた間に、パウロは奥地を通してエペソに来た。そして幾人かの弟子に出会って、²『信じ

たとき、聖霊を受けましたか』と尋ねると、彼らは『いいえ、聖霊の与えられることは、聞きもしませんでした』と答えた。³『では、どんなバプテスマを受けたのですか』と言うと、『ヨハネのバプテスマです』と答えた。⁴そこで、パウロは、『ヨハネは、自分のあとに来られるイエスを信じるように人々に告げて、悔い改めのバプテスマを授けたのです』と言った。⁵これを聞いたその人々は、主イエスの御名によってバプテスマを受けた。」

4. 使徒の働き19:6-7を読みましょう。これらの人々は聖霊のバプテスマを受けましたか？ _____

使徒の働き19:6-7「パウロが彼らの上に手を置いたとき、聖霊が彼らに臨まれ、彼らは異言を語ったり、預言をしたりした。⁷その人々は、みなで十二人ほどであった。」

5. ルカの福音書11:13を読みましょう。このみ言葉は聖霊のバプテスマを受けるには何をすべきだと言っているのでしょうか？ _____

ルカの福音書11:13「してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありますよう。」

6. コリント人への手紙第一14:2を読みましょう。人が異言を話す時、この人は何をしているのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第一14:2「異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。というのは、だれも聞いていないのに、自分の霊で奥義を話すからです。」

7. コリント人への手紙第一14:14を読みましょう。人が異言を話す

レッスン14

時、この人は何をしていますのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第一14:14「もし私が異言で祈るなら、私の霊は祈るが、私の知性は実を結ばないのです。」

8. コリント人への手紙第一14:16-17を読みましょう。人が異言を語る時、この人は何をしていますのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第一14:16-17「そうでないと、あなたが霊において祝福しても、異言を知らない人々の座席に着いている人は、あなたの言っていることがわからないのですから、あなたの感謝について、どうしてアーメンと言えるでしょう。¹⁷あなたの感謝は結構ですが、他の人の徳を高めることはできません。」

9. 使徒の働き2:4を読みましょう。人が異言を語っている時、聖霊が語っているのでしょうか、それともその人自身が語っているのでしょうか？ _____
10. 使徒の働き2:4を読みましょう。誰が人にことばを発せさせたのでしょうか？ _____

使徒の働き2:4「すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。」

レッスン15

聖霊を授かる方法

ドン・クロウ

きょうは、どのようにして聖霊を受けるのかを話してみたいと思います。使徒の働き10:1にはこう書かれています。「さて、カイザリヤにコルネリオという人がいて、イタリヤ隊という部隊の百人隊長であった。」これは軍の階級を示すもので、多分、軍の指揮官でしょう。2節。「彼は敬虔な人で、全家族とともに神を恐れかこみ、ユダヤの人々に多くの施しをなし、いつも神に祈りをしていたが、」彼は正義感があり、正しいことを行い、神を恐れ、貧しい人には金銭を惜しまず、聖書によると神にいつも祈りを捧げたとあります。しかし、たとえ正しい行いをし、神を恐れ、祈りの生活を送っていたとしても、イエスキリストを通して、神との個人的な交わりはありませんでした。

3-6節にはこうあります。「ある日の午後三時ごろ、幻の中で、はっきりと神の御使いを見た。御使いは彼のところに来て、『コルネリオ』と呼んだ。⁴彼は、御使いを見つめていると、恐ろしくなって、『主よ。何でしょうか』と答えた。すると御使いはこう言った。『あなたの祈りと施しは神の前に立ち上って、覚えられています。⁵さあ今、ヨッパに人をやって、シモンという人を招きなさい。彼の名はペテロとも呼ばれています。⁶この人は皮なめしのシモンという人の家に泊まっていますが、その家は海べにあります。』」

この人は、神を恐れ、しなければならないことを正しく行い、神との祈りの生活を守っていたにもかかわらず、天使が送られ、シモンペテロが、彼に何をすべきかを伝えると言われました。使徒の働き10:43を読むと、まさにペテロが何を言おうとしたのかがわかります。「イエスについては、預言者たちもみな、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる、とあかししています。」大変驚くべきこ

レッスン15

とです。何もかも賞賛を受けるべき正しいことを行なっていたにもかかわらず、人としてのイエスキリストを通して、神との交わりを持ってはいなかったのです。神は言いました。「あなたのしていることは優れていて、素晴らしく、わたしの記憶に残るであろう。しかしわたしが何をしようとしているかを言おう。わたしは、あなたがペテロという人を招くようにと伝える天使を差し向け、そして彼は、あなたが何をすべきかを伝えるであろう。」使徒の働き10:43には、ペテロがコルネリオの家に行ったことが書いてあります。「この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる」

さてここで、何が起きたのか見てみましょう。「ペテロがなおもこられのことばを話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった」(使徒の働き10:44)。コルネリオはキリストを信じる信仰について聞き、それを受け入れ、罪の赦しを受けるために、彼の信仰をキリストに委ねました。それをするとすぐに、聖霊が彼と、その家にいる全ての人たちの上を下りました。45節にはこうあります。「割礼を受けている信者で、ペテロといっしょに来た人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いた。」どうしてそうなったのかが、理解できたのでしょうか?「彼らが異言を話し、神を賛美するのを聞いたからである。そこでペテロはこう言った。」(46節)

聖霊が個人の上を下る度に、聖霊の賜物が示され、聖霊が満たされたことを示す形跡が与えられると新約聖書は教えています。それは、新約聖書においては、異言を語るか、または預言を語るということです。

テキサス州ダラスにある畑で、わたしは、ある夜神の前に膝まずき、祈りました。「神よ、異言を語ること、聖霊による洗礼について人々が話すのを聞いていますが、もしあなたを賛美そしてほめたたえる方法、そして英語を超えることばで崇める方法があるならば、わたしはそれを望みます。」わたしが神を賛美礼拝し始めると、聖霊がそのことば

を下さいました。わたしの口走ることは、わたしが知っていることばではなく、また習ったことばでもありませんでした。聖書は使徒の働き2:4でこう言っています、「すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。」誰が語ったのでしょうか？「みな」がです。誰がことばを発せさせたのでしょうか？聖霊です。

ルカの福音書11:13にはこう書かれています。「してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありますか。」今あなたがすべきことは尋ね求めることで、そのことばを受けることができることを信じ、神に身をまかせ、主を賛美礼拝し始めると、そのために神は今まで習ったことのないことばを下さいます。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. 聖書に使われている救いについての用語を探してみましょう。__

ヨハネの福音書3:3「イエスは答えて言われた。『まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。』」

使徒の働き3:19「そういうわけですから、あなたがたの罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。」

マルコの福音書16:16「信じてバプテスマを受ける者は、救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。」

コロサイ人への手紙2:13「あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました。それは、私たちのすべての罪を赦し、」

ローマ人への手紙8:9「けれども、もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉の中にはなく、御霊の中にいるのです。キリストの御霊を持たない人は、キリストのものではありません。」

マタイの福音書25:46「こうして、この人たちは永遠の刑罰に入り、正しい人たちは永遠のいのちに入ります。」

2. 使徒の働き11:15を読みましょう。聖霊の洗礼の体験をこの聖句はどのように説明しているでしょうか？ _____

使徒の働き11:15「そこで私が話し始めていると、聖霊が、あの最初のとき私たちにお下りになったと同じように、彼らの上にもお下りになったのです。」

3. イエスの弟子たちは聖霊を受けましたが、(ヨハネの福音書20:22) 二、三日後実に聖霊によるバプテスマ(洗礼)を受けました。(使徒の働き2:1-4)調べてこの事実を比べてみましょう。(ヨハネの福音書20:22、使徒の働き2:1-4) _____

ヨハネの福音書20:22「そして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて言われた。『聖霊を受けなさい。』」

使徒の働き2:1-4「五旬節の日になって、みなが一つの所に集まっていた。²すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。³また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。⁴すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。」

4. 使徒の働き1:8を読みましょう。聖霊による洗礼の目的とはなんでしょうか？ _____

レッスン15

使徒の働き1:8「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

5. 使徒の働き2:38-39とコリント人への手紙コリント人への手紙第一1:7を読みましょう。聖霊による洗礼は、こんにちの私たちにあてはまるでしょうか？ _____
- _____
- _____

使徒の働き2:38-39「そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。³⁹なぜなら、この約束は、あなたがたと、その子どもたち、ならびにすべての遠くにいる人々、すなわち、私たちの神である主がお召しになる人々に与えられているからです。」

コリント人への手紙第一1:7「その結果、あなたがたはどんな賜物にも欠けるところがなく、また、熱心に私たちの主イエス・キリストの現れを待っています。」

6. ルカによる福音書11:13を読みましょう。あなたが、もしまだ聖霊の洗礼を受けていないのならば、今どうするべきでしょうか？
- _____

ルカの福音書11:13「してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありましょう。」

7. 使徒の働き2:4を読みましょう。神が下さる異言のことばで求

め、受け、語り、そして神を礼拝してみませんか? _____

使徒の働き2:4「すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました」

レッスン16

異言を語ることの恩恵

アンドリュー・ウオーマック

聖霊による洗礼が初めて来た時に起こったことの一つは、そこにいた人々全員が異言を語ったことです。五旬節(ペンテコスト)の日彼らは聖霊に満たされ、聖霊に促されて異言を語ったと、使徒の働き2:4には書かれています。使徒の働き全体を通じ一貫して、人々が聖霊による洗礼を受ける度に、神の臨在が明らかに示めされました。

もちろん、聖霊には異言を語る以上にもっと多くのことが含まれていますが、しかしこの事実は非常に大切なしるしの一つです。コリント人への手紙第一14:13-14にはこう書かれています、「こういうわけですから、異言を語る者は、それを解き明かすことができるように祈りなさい。¹⁴もし私が異言で祈るなら、私の霊は祈るが、私の知性は実を結ばないのです」あなたが異言で祈る時は、あなたの霊が祈るのです。異言を語るたびに、祈りが解き明かされ、あなたの理解が実り多くなりますようにと祈りましょう。

わたしの証として、わたしが、聖霊による洗礼を受け、異言を語り始めた時、わたしの人生は劇的に変わりました。わたしが生まれ変わった時、キリストがわたしの内に来て住み、すべてを挿入してくれたことを信じましたが、聖霊がわたしの上に乗った時から、わたしにもその他の人にも明白な現象が現れ始めました。そしていくつかのことが起こりました。異言を語り始めた最初の年、わたしの頭では、それは気狂いじみでいて、なんと無駄なことをしているのだと言っていました。異言を語るには、わたしの信仰が必要でした、それでユダの手紙20には、最もきよい信仰の上に自身を築き上げなさいと書かれています。そしてそれには自分自身の考えや、理屈を超えて、超自然的な信仰の領域にあなた自身を置きます。

この他、異言で祈りをした時の経験ですが、何年も考えたことのない人たちのことを思い起こされたことです。わたしがその人たちのために祈り始めると、一日、二日以内に彼らから奇跡的なことが起きたという連絡が入ったのです。あまりにも度々このようなことがあるので、その結果、これらのことを結びつけて、異言で祈りをすると、自分の知性を超えた知識で祈っているのだと自覚しました。わたしの霊はすべてを知り、それはキリストの心で、自分自身の物質的、肉体的からの認識ではとても不可能な祈りを、この人たちのためにしていたのです。

ある日、異言で祈っていました一前にも言ったとおり、信仰を持たずには異言を語れませんでした一そしてわたしの頭ではかっとうがありました、「わけのわからないことばで祈らないで、英語で語ればもっと効果的なのに。」このような考えと戦い、打ち消しながらも、わたしは祈り続けました。すると、4年間会っていない人が尋ねて来ました。彼は挨拶もしないで家に上がり、座り、そして自分は色々な問題を抱えているのだと泣き始めました。わたしは聞きながら思ったのです、「英語で祈れば良かった」そして次に思ったことは、「4年間も会っていないのに、どうして彼のために祈ったら良いのかが、分かったのだろうか」最終的には、祈っていたことで、神がそのために、わたしを用意して下さいたのだということに気がつきました。これはわたしの理解だけではとても祈れない、とりなしの祈りをしていたのです。突然、神からの啓示が示され始めました、「あなたの問題点が何か分かりましたよ」。彼の問題点をいい終え、そして彼にその答えを言いました。

このことが起きたのは、わたしがまだ特定の教派に属している頃だということを知って下さい。彼はわたしに何が起きたのかわからず、わたしも確かではありませんでした。二人ともそれには驚きました。しかしこれは神の力が現れたもので、神が超自然的に利用なされたのです。それはこういうことです:あなたが異言で祈るということは、あなたの霊が祈っていることです。あなたの霊は生まれ変わり、キリストの心を持ち、何をすべきかをよく知っているのです。それは神からの注油(油が注がれた)があって、あなたはすべてを知り、そこにはなん

の制限もないのです。あなたが、霊の力と啓示によって歩むのなら、あなたの身体的な生活を一変させるでしょう。これを実現させる一つの方法は(これだけとは言えませんが)、とにかく異言を語り始めることです。最も聖なる信仰により徳を高め、あなたの霊が神の隠された奥義を祈り、そして完璧な神の啓示が示されるのだということを、異言を語るのにあたり、認識かつ信じるべきです。ですから、コリント人への手紙第一14:13に書かれているように、祈りの意味が解き明かせるようにと祈るべきです。これは決して異言を語ることをやめて英語で祈りなさいという意味ではありません、これは単にあなたの理解力が実を結びますようにという意味です。

もしあなたが教会の礼拝で異言でメッセージを語るのなら、終わり次第英語で通訳する必要があります。自分一人で祈る時、わたしの場合は、神がわたしに啓示を与えて下さることを信じます。時には、わたしの受け止め方が変わります。ことばでは言い表せませんが、突如物事が明瞭になり、見解が違ってきます。はっきりとした神の啓示が示されるまで一週間かかる時もありますが、異言で祈る時間と、その意味が示されることを信じることは、異言を語るということの一部です。

異言を語ることには、多くの大切な理由があります、聖霊を授かったことを証明するだけではありません。それは日常生活には欠かせないものです。これはあなたの心と父なる神を直接結ぶものです。それは疑いや恐れに満たされたあなたの知性を超えるものです。それはあなたの最もきよい信仰を築き上げるもので、神の隠された知恵を解き放します。あなた方全てがこの流れを自分のものとして、あなたの信仰が解放され、異言を語ることのすべての利益を獲得して欲しいとわたしは祈ります。

復習問題

復習問題に引用されるみ言葉

1. ユダの手紙20を読みましょう。聖霊による祈りをする時の利得とはなんでしょうか？ _____

ユダの手紙20「しかし、愛する人々よ。あなたがたは、自分の持っている最も聖い信仰の上に自分自身を築き上げ、聖霊によって祈り、」

2. 使徒の働き2:4を読みましょう。何人の人が聖霊に満たされたか？ _____

3. 使徒の働き2:4を読みましょう。満たされた結果これらの人たちは何をしましたか？ _____

使徒の働き2:4「すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。」

4. コリント人への手紙第一14:14を読みましょう。知らないことばで祈る時あなたの中の部分が祈っているのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第一14:14「もし私が異言で祈るなら、私の霊は祈るが、私の知性は実を結ばないのです」

5. コリント人への手紙第一14:2を読みましょう。知らないことばで祈る時、誰に語っているのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第一14:2「異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。というのは、だれも聞いていないのに、

レッスン16

自分の霊で奥義を話すからです。」

6. コリント人への手紙第一14:2を読みましょう。知らないことばで祈る時、何を語っているかを理解しているのでしょうか？ _____

7. コリント人への手紙第一14:2を読みましょう。知らないことばで祈る時、あなたの霊は何を語っているのでしょうか？ _____

8. コリント人への手紙第一14:4を読みましょう。異言を語る時、あなたのしていることは何でしょうか？ _____

コリント人への手紙第一14:4「異言を話す者は自分の徳を高めますが、預言する者は教会の徳を高めます。」

9. コリント人への手紙第一14:16を読みましょう。あなたは何をしているのでしょうか？ _____

コリント人への手紙第一14:16「そうでないと、あなたが霊において祝福しても、異言を知らない人々の座席に着いている人は、あなたの言っていることがわからないのですから、あなたの感謝について、どうしてアーメンと言えるでしょう。」

.....

回答セクション

答1

1. ヨハネの福音書3:16を読みましょう。神がイエスをこの世に送った目的は何だったのでしょうか？
罪を許すことによって永遠の命を与え、イエスを信じることにより、この世を救うため。
2. 聖書の中で出て来る「知る」とは、親密で、親しい関係を築くという意味です。(創世記4:1)ヨハネの福音書17:3を読みましょう。この箇所によると、永遠の命とは何でしょうか？
永遠の命とは、神とイエス・キリストに親しい間柄で結ばれること。
3. ヨハネの手紙第一5:11-12を読みましょう。これによると、永遠の命はいつ始まるのでしょうか？
神のひとり子(イエス・キリスト)を信じる時。
4. ヨハネの福音書10:10を読みましょう。イエスはどのような命(人生)を私たちに与えて下さったのでしょうか？
豊かな命。
5. 豊かな命(人生)とは何でしょうか？自分の言葉で表現してみましょう。
イエスの語られた、盗人のわざとは反対の人生(命)。
6. 神はこの世の罪を贖うためにイエスを送られ、永遠の命を下さったという事実を信じますか？
はい。

7. 「永遠の命」とは、ただ時がとこしえに続くというだけではなく、人生の質と豊かさに関わるということを明瞭に理解していますか？
はい。

答2

1. ルカの福音書18:9を読みましょう。たとえ話とはなんでしょうか？
聖書のたとえ話は、霊的真理を示すために使われます。
2. ルカの福音書18:9を読みましょう。イエスは誰にたとえ話をしたのでしょうか？
自分は正しい者だと自負していた人達。すなわち自分の義が正しいとしていた人達。
3. ルカの福音書18:9の最後の部分を読みましょう。自分を正しき者としている人達は、その態度が表れます。その態度とは次のうちどれでしょうか？
B. 人をさげすむ又は人を見下す。
4. ルカの福音書18:10を読みましょう。ある二人が祈りに行きました。どこへ行ったのでしょうか？
教会。
5. ルカの福音書18:10を読みましょう。ある二人とは誰のことでしょうか？
パリサイ人と取税人。
6. ルカの福音書18:11を読みましょう。パリサイ人は何を祈ったのでしょうか？
神よ、わたしはほかの人たちのような貪欲な者、不正な者、姦淫

をする者ではなく、また、この取税人のような人間でもないことを感謝します。

7. ルカの福音書18:12を読みましょう。断食とはなんのことでしょうか？
食物を取らないこと。
8. ルカの福音書18:12を読みましょう。献金をするとはどのようなことでしょうか？
収入の10%を捧げること。
9. ルカの福音書18:13を読みましょう。取税人はどこに立っていましたか？
離れて立っていた。
なぜですか？
悪しき罪人であることを認めていたので、教会に入ることをためらっていた。
10. ルカの福音書18:13を読みましょう。取税人が頭をたれ、顔を上げなかったのはなぜでしょうか？
恥じていたから。
11. ルカの福音書18:13を読みましょう。取税人は何を祈ったのでしょうか？
神よ情けをかけてください。私は罪人ですから。
12. ルカの福音書18:14を読みましょう。二人のどちらが神の義を与えられて、家に戻ったのでしょうか？
取税人。
13. ルカの福音書18:14を読みましょう。なぜパリサイ人ではなく、取税人が義とされたのでしょうか？

取税人は神のみ前で悔い改めたからです。パリサイ人はプライドが高く、自分には救い主など必要としていないと思ったからです。

14. ルカの福音書18:14を読みましょう。神はこの取税人をお許しになりましたか？

はい。

15. ローマ人への手紙10:13を読みましょう。「神様このような罪びとを情けを持ってお許してください。」と今ここで、あなたがひざまづいて祈ったとしたら、神は取税人と同じように取り計らってくださるでしょうか？

はい。神はあらゆる不義を許し、洗い流してくださいます。

答3

1. テトスへの手紙3:5を読みましょう。私たちが必要としている義は、自分で生み出すことができるでしょうか？

いいえ。

2. コリント人への手紙第二5:21を読みましょう。どのようなタイプの義が必要なのでしょうか？

神の義(キリストを通して得る)。

3. ローマ人への手紙3:22を読みましょう。義はどのようにして受け取ることができるのでしょうか？

イエス・キリストを信じる信仰を通して受けることができる。

4. ピリピへの手紙3:9を読みましょう。律法による義とはなんでしょうか？

自分の義 — 自分の働きで作られされる義。

5. ガラテヤ人への手紙2:21を読みましょう。私たちはどのようにし

て神の無償の恵みを無にしてしまうのでしょうか？
キリストとその死を信頼して救われる代わりに、自分の義を作り出すことによって救われようとして、神の恵みを無にする。

6. ローマ人への手紙5:17を読みましょう。神の義をどのような名義で受け取るのでしょうか？
贈り物。

答4

1. 創世記3:1を読みましょう。サタンはエバに何を質問しましたか？
「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」
2. 創世記2:17と3:3を読みましょう。神が直接アダムに語りかけた言葉に、エバがつけ足した言葉は何でしょうか？
それに触れてもいけない。
3. 創世記3:6を読みましょう。サタンがエバの心のうちに、神のみ言葉に関しての疑いの念を吹き込んだあと、彼女はどのような行為をとりましたか？
実をとって食べた。
4. 創世記3:9-10を読みましょう。アダムとエバが罪を犯したのち、神は彼らとの交わりを続けましたか？
はい。
5. 創世記3:22-24を読みましょう。神はなぜアダムとエバを園から追い出したのでしょうか？
いのちの木を取って食べないように、そして罪の状態ですべて永遠に生きないため。

6. これが罪への罰ではなく、神の慈悲であったことがわかりますか？
はい。
7. ローマ人への手紙5:17を読みましょう。どのようにして神の豊かな無償の恵みと贈り物である義を得ることができるのでしょうか？
C. 受け取る。
8. ローマ人への手紙6:23を読みましょう。本当なら、罪は何に値するのでしょうか？
死。
9. 無償の恵みにより、神は代わりに何を下さるのでしょうか？
イエスにあつての永遠の命。
10. ローマ人への手紙10:3を読みましょう。もし私たちが、自分の義を神のみ前に定めようとしたら、何が欠けるのでしょうか？
神の義としてイエスに従うこと。
11. ヨハネの手紙第一1:9とローマ人への手紙 4:3を読みましょう。もし私たちが信じるならば、神に対するすべての罪と不正をどうすると約束して下さいましたか？
それらを取り去り、忘れ、許して下さい。
12. これはどのような神の性格を意味しているのでしょうか？
神は慈悲深く、愛でおられる。

答5

1. ローマ人への手紙5:13を読みましょう。転嫁という言葉の意味は何でしょうか？
ついで品物を買う時に使う言葉。

-
2. ローマ人への手紙7:7を読みましょう。律法の目的は何でしょうか？
罪を知るため。
 3. ガラテヤ人への手紙3:24を読みましょう。この箇所による律法の目的は何でしょうか？
私たちをキリストに導くため。
 4. ヨハネによる福音書8:1-11を読みましょう。イエスは姦淫の場で捕らえられた女をどのように裁いたのででしょうか？
憐れみと無償の恵。
 5. ヨハネによる福音書3:34を読みましょう。イエスの言葉と行動は神の本質を示しましたか？
はい。
 6. ヨハネの手紙第一4:8を読みましょう。この箇所による神の本質とは何でしょうか？
愛。
 7. ローマ人への手紙5:6を読みましょう。神の愛は私たちがどのような時に示されたのでしょうか？
弱かった時。
 8. ローマ人への手紙5:8を読みましょう。神は、私たちがどのような時に愛して下さったのでしょうか？
罪人。
 9. ローマ人への手紙5:10を読みましょう。神は、私たちがどのような時に、和解して下さったのでしょうか？
敵。
 10. イエスがあなたの罪のために代わりに支払って下さったことを

信じて、イエスキリストに赦しを乞い、救い主そして主として受け入れるならば、神はあなたにその本質と憐れみを示してくださるでしょうか？

はい。

答6

1. 悔い改めとは何でしょうか？
 - 新しい契約に向けて立ち回ること。
 - 考えを入れ替えること。
 - 心を入れ替えて、神に立ち返ること、過去の自分の考えから神の道に帰ること。
 - 完璧さではなく、方向転換を行うこと。
 - 人生の方向転換をするべき決心をすること。
 - 過去の道から神とその道に立ち返ること。
 - イエスキリストを通して神に立ち返ること。
2. ルカの福音書13:1-5を読みましょう。滅びないためには何をすれば良いのでしょうか？
悔い改めること。
3. ペテロの手紙第二3:9を読みましょう。全人類のための神の意志とは何でしょうか？
すべての人が悔い改めること。
4. ルカの福音書16:19-31を読みましょう。ルカの福音書16:28では、なぜ金持ちは死んだ者の中から彼の兄弟たちのところに行って、言い聞かせて欲しいと願ったのでしょうか？
この苦しみの場所に来なくて済むように。
5. ルカの福音書16:30を読みましょう。この苦しみの場所(地獄)へ来ないためには、この兄弟たちは何をすべきでしょうか？

悔い改めること。

6. 使徒の働き26:18を読みましょう。この箇所では、明確ではありませんが、悔い改めについて述べられています。悔い改めた人たちには何が起こるのでしょうか？
 - ・ 目が開くこと。
 - ・ 暗闇から光へ変わること。
 - ・ サタンの支配から神の支配へと変わること。
 - ・ 罪の赦しを得ること。
 - ・ 御国をを受け継ぐこと。

7. 使徒の働き26:20を読みましょう。この箇所の後半で、異邦人がすべき3つのことが記されています。この3つの事とは何でしょうか？
 - ・ 悔い改めること。
 - ・ 神に立ち返ること。
 - ・ 悔い改めにふさわしい行いをする事。

8. マタイの福音書7:21-23を読みましょう。神の意志を継がないでこの人達は何をしたとイエスは言っているのでしょうか？
不正又は不法。

9. 本当の悔い改めとただの口先だけの悔い改めの違いの重要性について、この箇所は何を教えているのでしょうか？
真の救いは口先だけではなく心からくるもの。

10. イザヤ書55:7を読みましょう。悪者は何をするべきでしょうか？
自分の道を捨て去ること。

11. 不法もの(義とされていない者)は2つの何をするべきでしょうか？
自分のはかりごとを捨てて、神に立ち返ること。

12. この2つのことをした人達に対して、神は何をして下さるのでしょうか？
憐れんでくださる。
13. ルカの福音書15:7を読みましょう。一人の罪人が悔い改めると、天はどのような反応を示すのでしょうか？
喜びが天に満ちる。
14. 使徒の働き3:19を読みましょう。もしあなたが悔い改め、改心したならば、あなたの罪はどうなるのでしょうか？
罪をぬぐい去ってください。

答7

1. ルカの福音書9:57-62を読みましょう。キリストに従うことの献身のレベルについてこの箇所は何を教えているのでしょうか？
絶対的な服従。
2. ルカの福音書8:13-14を読みましょう。なぜある人々はキリスト教から身を引いて、離れていくのでしょうか？
彼らは神の言葉を根の張ったものにしていません。この世の心づかいや、富や、快樂によってふさがれてしまうのです。
3. エゼキエル書16:8を読みましょう。神はご自身と人間との交わりを結婚を通じて示して下さい。この交わりにおいて人は誰の所有者になるのでしょうか？
神のもの。
4. コリントへの手紙第一6:19を読みましょう。あなたは誰に連なるのでしょうか？
神。

-
5. コリントへの手紙第一6:20を読みましょう。あなたの体と霊は誰に連なるのでしょうか？
神。
6. ヤコブの手紙4:4を読みましょう。神に対して霊的な姦淫を犯すことは可能でしょうか？
はい。
7. ローマ人への手紙1:25を読みましょう。神の目から見て、霊的姦淫とはどういうことを意味するのでしょうか？
神の真理を偽りと取り換え、造り主の代わりに造られた物を拝み、これに仕えること。(これらのものが神よりも大切なこととしたこと)。
8. ヨハネの福音書2:23-25を読みましょう。これらの箇所から献身と信仰について何を学ぶことができますか？
イエスは私たちの心から献身することを願っています。
9. ルカの福音書14:28-30を読みましょう。イエスに従うということは犠牲を払うということを理解していますか？あなたはイエスに従いたいと願っていますか？
はい。

答8

1. 若い男性がここで尋ねている質問は何でしょうか？
天国に行くために洗礼が必要なのでしょうか。
2. 使徒の働き10:43によりますと、救いはどのようにして私たちに到達するのでしょうか？
誰でも、イエスキリストを信じる信仰を持つ者は救われます。

3. 洗礼とは救いの時にその信仰を表現する行為です。
使徒の働き2:38はこの真理をどのように表現しているでしょうか？
「悔い改めて、洗礼を受けなさい」とペテロは言いました。
4. マルコの福音書16:16はこの真理をどのように表現しているでしょうか？
「信じてバプテスマを受ける者は、救われます。」とイエスは言いました。すなわち、信じることと洗礼を受けることは同時に起こり得るのです。
5. 洗礼は神の名を呼ぶ一つ的手段です。使徒の働き22:16はこの真理をどのように表現しているでしょうか？
その御名を呼んで洗礼を受け、自分の罪を洗い流しなさい、とあります。主の御名を呼ぶとは声を出して呼ぶと言うことかもしれませんが、このみ言葉によりますと、洗礼という行為を通して呼ぶということです。(ルカによる福音書18:30)
6. 洗礼は正しい良心を得るために神の名を呼ぶ手段の一つです。ペテロの手紙第一3:21はこの真理を裏付けていますか？
はい。
7. 使徒の働き2:38によりますと、洗礼を受ける時の条件とは何でしょうか？
悔い改め。
8. マルコの福音書によりますと、洗礼を受ける時の条件とは何でしょうか？
信じること。
9. 幼児は悔い改めることができるでしょうか？
いいえ。

10. 幼児は信じることができるでしょうか？
いいえ。

11. 使徒の働き10:43-48を読みましょう。キリストを信じることに
ついで、次に信者としてすることは何でしょうか？
洗礼を受けること。

答9

1. コリント人への手紙第二5:17を読みましょう。だれでもキリスト
のうちにあるなら、その人は何なののでしょうか？
新しく造られた者。

2. コリント人への手紙第二5:17を読みましょう。古いものはどうな
ったのでしょうか？
過ぎ去った。

3. コリント人への手紙第二5:17を読みましょう。何が新しくなった
のでしょうか？
すべて。

4. エペソ人への手紙2:1を読みましょう。あなたが生まれ変わる前、
あるいは生かされる前はどのような状態だったのでしょうか？
罪過と罪との中に死んでいた。

5. エペソ人への手紙2:2を読みましょう。未信者であった時、どの
ように歩んでいましたか？
そのころは、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空
中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いて
いる霊に従って、歩んでいました。

6. エペソ人への手紙2:3-5を読みましょう。神は何に豊かであった

のでしょうか？

憐み。

7. エペソ人への手紙2:4を読みましょう。神はなぜ憐み深いのでしょうか？

私たちへの大きな愛のゆえ。

8. エペソ人への手紙2:5を読みましょう。罪過の中に死んでいた私たちに神は何をしてくださったのでしょうか？

キリストと共に生かしてください。

9. エペソ人への手紙2:5を読みましょう。神はどのようにして私たちを救ってくださったのでしょうか？

神の恵み。

10. コリント人への手紙第一6:9-10を読みましょう。この箇所にリストされているものであなたの共感できるものはあるのでしょうか？

はい。

11. コリント人への手紙第一6:11を読みましょう。「でした」とは過去、現在または未来のうちどの状態でしょうか？

過去。

12. コリント人への手紙第一6:11を読みましょう。あなたが生まれ変わった時、3つのことが起こりましたが、それは何でしょうか？

神の前に洗われ、聖なる者とされ、義とされた。

13. コリント人への手紙第一6:11を読みましょう。これは過去、現在、未来のうちどれでしょうか？

現在。

14. コリント人への手紙第一6:17を読みましょう。

キリストにつながっている人たちは、彼と同じ精神を持っています。

答10

1. コリント人への手紙第6:17を読みましょう。霊での完全なる転換が起きたかどうかを知る唯一の手立ては聖書のみ言葉のみによります。この箇所では何が起きたのでしょうか？
私たちの霊が主と交わりました。
2. エペソ人への手紙3:17を読みましょう。キリストは今どこに生きているのでしょうか？
心のうち。
3. エペソ人への手紙3:17を読みましょう。どのようにして起きたのでしょうか？
信仰によって。
4. ヨハネの手紙第一5:12を読みましょう。救いを得るためには誰を受け入れなければならないのでしょうか？
イエスキリスト。
5. コロサイ人への手紙1:26-27を読みましょう。多くの世代にわたって隠されていて、いま現された事とは何でしょうか？
私たちの中にあるキリスト、栄光の望み。
6. エペソ人への手紙4:23-24を読みましょう。義と聖をもって造られたものとは何でしょうか？
新しい人(新しく生まれ変わった)。
7. コリント人への手紙第二5:21を読みましょう。私たちは誰の義を所有しているのでしょうか？
キリストにある神の義。

8. エペソ人への手紙1:4を読みましょう。神の御前での聖徒たちの位置(状態)とは何でしょうか?
聖く、傷のない者。
9. エペソ人への手紙1:6を読みましょう。どのようにして私たちは受け入れられるのでしょうか?
神の愛する者(イエスキリスト)。

答11

1. ローマ人への手紙4:5を読みましょう。神はどのような人を正しい(義とする)とされるのでしょうか?
未信者。
2. ローマ人への手紙4:2-3を読みましょう。神はアブラハムの口座(彼が信じた時)に今まで持っていなかったものを入れました。それは何だったのでしょうか?
義、または神のみ前に正しいとされること。
3. ローマ人への手紙4:22-24を読みましょう。もし私たちがアブラハムと同じように信じたらば、神は私たちの口座に何を入れてくれるのでしょうか?
義、または神のみ前に正しいとされること。
4. ローマ人への手紙4:6を読みましょう。神は義(正しき者としてみ前に立つ)を口座に入れてくださいます。
B. 行いに関係なく。
5. ヘブル人への手紙10:14を読みましょう。いつまで信者は神のみ前で完全な者としてられるのでしょうか?
永遠。

-
6. ローマ人への手紙5:17を読みましょう。義が与えられるのは:
B. ギフトとして。
7. 「ギフト」とは、ここではどのような意味合いがあるのでしょうか...?
無料で受けることができる。
8. イエスがあなたの救い主として信頼するという事は、どこまで信じれば良いのでしょうか?
B. 天国まで。

答12

1. マタイの福音書13:19を読みましょう。もし私たちが神のみことばを心に植え付けないと、どうなるのでしょうか?
悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪い、実を結びません。
2. ヨシュア記1:8を読みましょう。私たちはいつ神のみことばをじっくり考えるべきでしょうか?
昼も夜も。
3. ヨハネの福音書6:63を読みましょう。このみことばによると、神のみことばとは、何と何でしょうか?
霊といのち。
4. マタイの福音書4:4を読みましょう。人は食べ物だけで生きるのではなく、他に何で生きるのでしょうか?
神の口から出る一つ一つのことば。
5. エペソ人への手紙6:17を読みましょう。神のみことばはどのような武器に当たるのでしょうか?
剣。

6. 剣は敵に害を与えるでしょうか？
はい。
7. ローマ人への手紙8:6を読みましょう。神のみことばを私たちの生活に取り入れる時、私たちは何を心得るでしょうか？
いのちと平安。
8. コリント人への手紙第二3:18を読みましょう。私たちが注目することによって、私たちの心は満たされます。一体何に焦点を集めたら良いのでしょうか？
主と栄光。

答13

1. ヤコブの手紙1:13を読みましょう。神が人間が悪魔に試されることを引き起こすのでしょうか？
いいえ。
2. ヤコブの手紙1:17を読みましょう。良いギフトはどこから来るのでしょうか？
光の父。
3. ヨハネの福音書10:10を読みましょう。盗人とは誰のことでしょうか？
悪魔。
4. ヨハネの福音書10:10を読みましょう。彼の目的は何でしょうか？
盗み、殺し、滅ぼすため。
5. ヨハネの福音書10:10を読みましょう。イエスの来られた目的は何でしょうか？

命を豊かに下さるため。

6. ヤコブの手紙4:7を読みましょう。神に服従して、悪魔に抵抗した時の結果は何でしょうか？
私から逃げ去る。
7. ローマ人への手紙8:28を読みましょう。ローマ人への手紙8:28はすべてのことが神から来ると言っているのでしょうか？
いいえ。
8. 使徒の働き10:38を読みましょう。病気は神から来たのでしょうか？
いいえ。
9. ヨハネの手紙第一3:8を読みましょう。神の子が明らかにされた目的は何だったのでしょうか？
悪魔のしわざを打ちこわすため。

答14

1. マルコの福音書16:16をまず読みましょう。次に使徒の働き8:5、12を読みましょう。使徒の働き8:12に出て来る人々はクリスチャンになりましたか？
はい。
2. 使徒の働き8:14-16を読みましょう。これらの人々は聖霊のバプテスマを受けましたか？
いいえ。
3. 使徒の働き19:1-5を読みましょう。これらの人々は信者でしたか？
はい。

4. 使徒の働き19:6-7を読みましょう。これらの人々は聖霊のバプテスマを受けましたか？
いいえ。(この出来事は救いの経験とは全く違うことを指す)。
5. ルカの福音書11:13を読みましょう。このみ言葉は聖霊のバプテスマを受けるには何をすべきだと言っているのでしょうか？
願う。
6. コリント人への手紙第一14:2を読みましょう。人が異言を話す時、この人は何をしているのでしょうか？
神に話し、奥義を語っている。
7. コリント人への手紙第一14:14を読みましょう。人が異言を話す時、この人は何をしているのでしょうか？
霊が神に祈っている。
8. コリント人への手紙第一14:16-17を読みましょう。人が異言を語る時、この人は何をしているのでしょうか？
霊が神をほめたたえ、神に感謝をしている。
9. 使徒の働き2:4を読みましょう。人が異言を語っている時、聖霊が語っているのでしょうか、それともその人自身が語っているのでしょうか？
その人自身が語っている。
10. 使徒の働き2:4を読みましょう。誰が人にことばを発せさせたのでしょうか？
聖霊。

答15

1. 聖書に使われている救いについての用語を探してみましょう。

-
- ・ 新しく生まれる(ヨハネの福音書3:3)。
 - ・ 神に立ち返る(使徒の働き3:19)。
 - ・ 信じてバプテスマを受ける(マルコの福音書16:16)。
 - ・ 罪を赦され(コロサイ人への手紙2:13)。
 - ・ キリストの御霊を持つ(ローマ人への手紙8:9)。
 - ・ 永遠のいのち(マタイの福音書25:46)。

2. 使徒の働き11:15を読みましょう。聖霊の洗礼の体験をこの聖句はどのように説明しているでしょうか？

人に聖霊がくだる。

3. (ヨハネの福音書20:22)イエスの弟子たちは聖霊を受けましたが二、三日後実に聖霊によるバプテスマ(洗礼)を受けました。(使徒の働き2:1-4)

調べてこの事実を比べてみましょう。

(ヨハネの福音書20:22、使徒の働き2:1-4)

- ・ 弟子たちが聖霊を受けた。(ヨハネの福音書20:22)
- ・ これと同じ弟子たちが聖霊の洗礼を受けた。
(使徒の働き2:1-4)
- ・ 内側と外側が浸された。(使徒の働き1:8)

4. 使徒の働き1:8を読みましょう。聖霊による洗礼の目的とはなんでしょうか？

力の増大と使命(証し)のため。

5. 使徒の働き2:38-39とコリント人への手紙第一1:7を読みましょう。聖霊による洗礼はこんにちの私たちにあてはまるでしょうか？

はい。聖霊の賜物が下ることはキリストの再臨で終わるがそれまでは続く。

6. ルカの福音書11:13を読みましょう。あなたが、もしまだ聖霊の

洗礼を受けていないのならば、今どうするべきでしょうか？
求めるべき。

7. 使徒の働き2:4を読みましょう。神が下さる異言のことばで求め、受け、語り、そして神を礼拝してみませんか？
はい。わたしは語るが、聖霊が異言のことばをくださる。

答16

1. ユダの手紙20を読みましょう。聖霊による祈りをする時の特典とはなんでしょうか？
聖霊による祈りをする時、自分を高める。
2. 使徒の働き2:4を読みましょう。何人の人が聖霊に満たされましたか？
全員。
3. 使徒の働き2:4を読みましょう。満たされた結果これらの人たちは何をしましたか？
異言を語った。
4. コリント人への手紙第一14:14を読みましょう。知らないことばで祈る時あなたのどの部分が祈っているのでしょうか？
自分の霊が祈っている。
5. コリント人への手紙第一14:2を読みましょう。知らないことばで祈る時、誰に語っているのでしょうか？
神。
6. コリント人への手紙第一14:2を読みましょう。知らないことばで祈る時、何を語っているかを理解しているのでしょうか？
いいえ。

-
7. コリント人への手紙第一14:2を読みましょう。知らないことばで祈る時、あなたの霊は何を語っているのでしょうか？
- **謎。**
 - **秘密のこと(New Century version)。**
 - **神と自分との秘め事(The Message)。**
8. コリント人への手紙第一14:4を読みましょう。異言を語る時、あなたのしていることは何でしょうか？
自分を高めること。
9. コリント人への手紙第一14:16を読みましょう。あなたは何をしているのでしょうか？
祝福そして神に感謝をしている。

.....

イエスキリストを救い主として受け入れましょう

イエスキリストを救い主として受け入れるという決断は人生の中で最も大切なことになるでしょう。

神の約束。ローマ人への手紙10:9-10、13「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。¹⁰人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです...¹³主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」のです。」神のグレース(無条件の恵み)により、神は救いをもたらすための必要をすべて、用意して下さいました。あなたがしなければならないことは信じて、受け入れることのみです。

声を出して次のことを祈りましょう。「イエス様、あなたが私の主で、救い主であることを告白します。私は神があなたを死からよみがえらせたことを心から信じます。あなたのみ言葉を信じる信仰により、救いを受けます。あなたがこの私を救って下さり、感謝します。」

あなたがイエスキリストにあなたの命を授けた瞬間に、神のみ言葉の真理があなたの霊に宿ります。あなたは今生まれ変わり、新しい自分が授かったのです。

聖霊のバプテスマを受けましょう

神の子供として、愛である天の神は新しい人生を生きるために必要な超自然な力をあなたに与えたいと願っているのです。

ルカによる福音書11:10, 13「だれであっても、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます...¹³ してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さないことがあります。」

あなたのすべきことはただ求め、信じ、そして受けることです。祈りましょう。「天のお父様、この新しい人生を生きるために、あなたの力が必要であることを認めます。どうかあなたの聖霊で私を満たして下さい。信仰により、今聖霊を受けます。聖霊のバプテスマを与えて下さり、感謝します。聖霊様、私の中によろこそ宿して下さいました。

おめでとうございます。今あなたは神の超自然の力に満たされました。知らない言語の音節があなたの心から口先へと湧き上がるでしょう。(コリント人への手紙第一14:14)信仰によりその音節で話す時、あなたはあなたの中にある神の力を解き放ち、あなたの霊の徳を高めるのです。(4節)これはどこでも、いつでも出来ることです。

あなたが主の霊を受けるために祈る時、それは感じる感じないに関係なく起こるのです。あなたが受け入れたと信じたならば、神の約束であるみ言葉により実現するのです。神はいつでもみ言葉の約束を守ります。

マルコの福音書11:24「だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。」

365日聖書通読計画表

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. イザヤ9-10;エペソ3 | 31. エレミヤ20-21;2テモテ4 |
| 2. イザヤ11-13;エペソ4 | 32. エレミヤ22-23;テトス1 |
| 3. イザヤ14-16 | 33. エレミヤ24-26;テトス2 |
| 4. イザヤ17-19;エペソ5 | 34. エレミヤ27-29;テトス3 |
| 5. イザヤ20-22;エペソ6 | 35. エレミヤ30-31;ピレモン1 |
| 6. イザヤ23-25;ピリピ1 | 36. エレミヤ32-33;ヘブル1 |
| 7. イザヤ26-27;ピリピ2 | 37. エレミヤ34-36;ヘブル2 |
| 8. イザヤ28-29;ピリピ3 | 38. エレミヤ37-39;ヘブル3 |
| 9. イザヤ30-31;ピリピ4 | 39. エレミヤ40-42;ヘブル4 |
| 10. イザヤ32-33;コロサイ1 | 40. エレミヤ43-45;ヘブル5 |
| 11. イザヤ34-36;コロサイ2 | 41. エレミヤ46-47;ヘブル6 |
| 12. イザヤ37-38;コロサイ3 | 42. エレミヤ48-49;ヘブル7 |
| 13. イザヤ39-40;コロサイ4 | 43. エレミヤ50;ヘブル8 |
| 14. イザヤ41-42;1テサロニケ1 | 44. エレミヤ51-52;ヘブル9 |
| 15. イザヤ43-44;1テサロニケ2 | 45. 哀歌1-2;ヘブル10 |
| 16. イザヤ45-46;1テサロニケ3 | 46. 哀歌3-5 |
| 17. イザヤ47-49;1テサロニケ4 | 47. エゼキエル1-2 |
| 18. イザヤ50-52;1テサロニケ5 | 48. エゼキエル3-4;ヘブル11 |
| 19. イザヤ53-55;2テサロニケ1 | 49. エゼキエル5-7;ヘブル12 |
| 20. イザヤ56-58;2テサロニケ2 | 50. エゼキエル8-10;ヘブル13 |
| 21. イザヤ59-61;2テサロニケ3 | 51. エゼキエル11-13;ヤコブ1 |
| 22. イザヤ62-64;1テモテ1 | 52. エゼキエル14-15;ヤコブ2 |
| 23. イザヤ65-66;1テモテ2 | 53. エゼキエル16-17;ヤコブ3 |
| 24. エレミヤ1-2;1テモテ3 | 54. エゼキエル18-19;ヤコブ4 |
| 25. エレミヤ3-5;1テモテ4 | 55. エゼキエル20-21;ヤコブ5 |
| 26. エレミヤ6-8;1テモテ5 | 56. エゼキエル22-23;1ペテロ1 |
| 27. エレミヤ9-11;1テモテ6 | 57. エゼキエル24-26;1ペテロ2 |
| 28. エレミヤ12-14;2テモテ1 | 58. エゼキエル27-29;1ペテロ3 |
| 29. エレミヤ15-17;2テモテ2 | 59. エゼキエル30-32;1ペテロ4 |
| 30. エレミヤ18-19;2テモテ3 | 60. エゼキエル33-34;1ペテロ5 |

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 61. エゼキエル35-36;2ペテロ1 | 93. マラキ1-4;ヨハネ黙示録22 |
| 62. エゼキエル37-39;2ペテロ2 | 94. ルツ |
| 63. エゼキエル40-41;2ペテロ3 | 95. 1サムエル1-3;ルカ8 |
| 64. エゼキエル42-44;1ヨハネ1 | 96. 1サムエル4-7 |
| 65. エゼキエル45-46;1ヨハネ2 | 97. 1サムエル8-10 |
| 66. エゼキエル47-48;1ヨハネ3 | 98. 1サムエル11-12;ルカ9 |
| 67. ダニエル1-2;1ヨハネ4 | 99. 1サムエル13-14 |
| 68. ダニエル3-4;1ヨハネ5 | 100. 1サムエル15-16;ルカ10 |
| 69. ダニエル5-7;2ヨハネ1 | 101. 1サムエル17-18;ルカ11 |
| 70. ダニエル8-10;3ヨハネ1 | 102. 1サムエル19-21 |
| 71. ダニエル11-12;ユダ1 | 103. 1サムエル22-24 |
| 72. ホセア1-4;ヨハネ黙示録1 | 104. 1サムエル25-26;ルカ12 |
| 73. ホセア5-8;ヨハネ黙示録2 | 105. 1サムエル27-29 |
| 74. ホセア9-11;ヨハネ黙示録3 | 106. 1サムエル30-31;ルカ13 |
| 75. ホセア12-14;ヨハネ黙示録4 | 107. 2サムエル1-2;ルカ14 |
| 76. ヨエル;ヨハネ黙示録5 | 108. 2サムエル3-5 |
| 77. アモス1-3;ヨハネ黙示録6 | 109. 2サムエル6-8 |
| 78. アモス4-6;ヨハネ黙示録7 | 110. 2サムエル9-11;ルカ15 |
| 79. アモス7-9;ヨハネ黙示録8 | 111. 2サムエル12-13;ルカ16 |
| 80. オバデヤ;ヨハネ黙示録9 | 112. 2サムエル14-15;ルカ17 |
| 81. ヨナ;ヨハネ黙示録10 | 113. 2サムエル16-18 |
| 82. ミカ1-3;ヨハネ黙示録11 | 114. 2サムエル19-20;ルカ18 |
| 83. ミカ4-5;ヨハネ黙示録12 | 115. 2サムエル21-22 |
| 84. ミカ6-7;ヨハネ黙示録13 | 116. 2サムエル23-24;ルカ19 |
| 85. ナホム;ヨハネ黙示録14 | 117. 1列王1-2 |
| 86. ハバクク;ヨハネ黙示録15 | 118. 1列王3-5;ルカ20 |
| 87. ゼパニヤ;ヨハネ黙示録16 | 119. 1列王6-7 |
| 88. ハガイ;ヨハネ黙示録17 | 120. 1列王8-9 |
| 89. ゼカリヤ1-4;ヨハネ黙示録18 | 121. 1列王10-11;ルカ21 |
| 90. ゼカリヤ5-8;ヨハネ黙示録19 | 122. 1列王12-13 |
| 91. ゼカリヤ9-12;ヨハネ黙示録20 | 123. 1列王14-15;ルカ22 |
| 92. ゼカリヤ13-14;ヨハネ黙示録21 | 124. 1列王16-18 |

-
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 125. 1列王19-20;ルカ23 | 157. 2歴代25-27;ヨハネ16 |
| 126. 1列王21-22 | 158. 2歴代28-29;ヨハネ17 |
| 127. 2列王1-3 | 159. 2歴代30-31;ヨハネ18 |
| 128. 2列王4-6;ルカ24 | 160. 2歴代32-33 |
| 129. 2列王7-9 | 161. 2歴代34-36;ヨハネ19 |
| 130. 2列王10-12;ヨハネ1 | 162. エズラ1-2 |
| 131. 2列王13-14;ヨハネ2 | 163. エズラ3-5;ヨハネ20 |
| 132. 2列王15-16;ヨハネ3 | 164. エズラ6-8;ヨハネ21 |
| 133. 2列王17-18 | 165. エズラ9-10;使徒1 |
| 134. 2列王19-21 | 166. ネヘミヤ1-3 |
| 135. 2列王22-23;ヨハネ4 | 167. ネヘミヤ4-6;使徒2 |
| 136. 2列王24-25;ヨハネ5 | 168. ネヘミヤ7-9;使徒3 |
| 137. 1歴代1-3 | 169. ネヘミヤ10-11;使徒4 |
| 138. 1歴代4-7 | 170. ネヘミヤ12-13 |
| 139. 1歴代8-10 | 171. エステル1-2;使徒5 |
| 140. 1歴代11-12;ヨハネ6 | 172. エステル3-5 |
| 141. 1歴代13-15;ヨハネ7 | 173. エステル6-8;使徒6 |
| 142. 1歴代16-18 | 174. エステル9-10;使徒7 |
| 143. 1歴代19-21;ヨハネ8 | 175. ヨブ1-2 |
| 144. 1歴代22-24 | 176. ヨブ3-4 |
| 145. 1歴代25-27 | 177. ヨブ5-7;使徒8 |
| 146. 1歴代28-29;ヨハネ9 | 178. ヨブ8-10 |
| 147. 2歴代1-3;ヨハネ10 | 179. ヨブ11-13;使徒9 |
| 148. 2歴代4-6 | 180. ヨブ14-16 |
| 149. 2歴代7-9 | 181. ヨブ17-19 |
| 150. 2歴代10-12;ヨハネ11 | 182. ヨブ20-21;使徒10 |
| 151. 2歴代13-14 | 183. ヨブ22-24;使徒11 |
| 152. 2歴代15-16;ヨハネ12 | 184. ヨブ25-27;使徒12 |
| 153. 2歴代17-18;ヨハネ13 | 185. ヨブ28-29;使徒13 |
| 154. 2歴代19-20 | 186. ヨブ30-31 |
| 155. 2歴代21-22;ヨハネ14 | 187. ヨブ32-33;使徒14 |
| 156. 2歴代23-24;ヨハネ15 | 188. ヨブ34-35;使徒15 |

189. ヨブ36-37
190. ヨブ38-40
191. ヨブ41-42;使徒16
192. 詩篇1-3;使徒17
193. 詩篇4-6
194. 詩篇7-9;使徒18
195. 詩篇10-12
196. 詩篇13-15;使徒19
197. 詩篇16-17;使徒20
198. 詩篇18-19
199. 詩篇20-22
200. 詩篇23-25;使徒21
201. 詩篇26-28;使徒22
202. 詩篇29-30;使徒23
203. 詩篇31-32
204. 詩篇33-34;使徒24
205. 詩篇35-36;使徒25
206. 詩篇37-39;使徒26
207. 詩篇40-42;使徒27
208. 詩篇43-45
209. 詩篇46-48;使徒28
210. 詩篇49-50;ローマ1
211. 詩篇51-53;ローマ2
212. 詩篇54-56;ローマ3
213. 詩篇57-59;ローマ4
214. 詩篇60-62;ローマ5
215. 詩篇63-65;ローマ6
216. 詩篇66-67;ローマ7
217. 詩篇68-69
218. 詩篇70-71;ローマ8
219. 詩篇72-73;ローマ9
220. 詩篇74-76
221. 詩篇77-78;ローマ10
222. 詩篇79-80;ローマ11
223. 詩篇81-83
224. 詩篇84-86;ローマ12
225. 詩篇87-88;ローマ13
226. 詩篇89-90;ローマ14
227. 詩篇91-93;ローマ15
228. 詩篇94-96
229. 詩篇97-99;ローマ16
230. 詩篇100-102;1コリント1
231. 詩篇103-104;1コリント2
232. 詩篇105-106;1コリント3
233. 詩篇107-109;1コリント4
234. 詩篇110-112;1コリント5
235. 詩篇113-115;1コリント6
236. 詩篇116-118;1コリント7
237. 詩篇119
238. 詩篇120;1コリント8
239. 詩篇121-122;1コリント9
240. 詩篇123-125;1コリント10
241. 詩篇126-128
242. 詩篇129-131;1コリント11
243. 詩篇132-134
244. 詩篇135-136;1コリント12
245. 詩篇137-139;1コリント13
246. 詩篇140-142
247. 詩篇143-145;1コリント14
248. 詩篇146-147;1コリント15
249. 詩篇148-150
250. 箴言1-2;1コリント16
251. 箴言3-5;2コリント1
252. 箴言6-7;2コリント2

-
253. 箴言8-9;2コリント3
254. 箴言10-12;2コリント4
255. 箴言13-15;2コリント5
256. 箴言16-18;2コリント6
257. 箴言19-21;2コリント7
258. 箴言22-24;2コリント8
259. 箴言25-26;2コリント9
260. 箴言27-29;2コリント10
261. 箴言30-31;2コリント11
262. 伝道者1-3
263. 伝道者4-6;2コリント12
264. 伝道者7-9;2コリント13
265. 伝道者10-12;ガラテヤ1
266. 雅歌1-3;ガラテヤ2
267. 雅歌4-5;ガラテヤ3
268. 雅歌6-8;ガラテヤ4
269. イザヤ1-2;ガラテヤ5
270. イザヤ3-4;ガラテヤ6
271. イザヤ5-6;エペソ1
272. イザヤ7-8;エペソ2
273. イザヤ9-10;エペソ3
274. イザヤ11-13;エペソ4
275. イザヤ14-16
276. イザヤ17-19;エペソ5
277. イザヤ20-22;エペソ6
278. イザヤ23-25;ピリピ1
279. イザヤ26-27;ピリピ2
280. イザヤ28-29;ピリピ3
281. イザヤ30-31;ピリピ4
282. イザヤ32-33;コロサイ1
283. イザヤ34-36;コロサイ2
284. イザヤ37-38;コロサイ3
285. イザヤ39-40;コロサイ4
286. イザヤ41-42;1テサロニケ1
287. イザヤ43-44;1テサロニケ2
288. イザヤ45-46;1テサロニケ3
289. イザヤ47-49;1テサロニケ4
290. イザヤ50-52;1テサロニケ5
291. イザヤ53-55;2テサロニケ1
292. イザヤ56-58;2テサロニケ2
293. イザヤ59-61;2テサロニケ3
294. イザヤ62-64;1テモテ1
295. イザヤ65-66;1テモテ2
296. エレミヤ1-2;1テモテ3
297. エレミヤ3-5;1テモテ4
298. エレミヤ6-8;1テモテ5
299. エレミヤ9-11;1テモテ6
300. エレミヤ12-14;2テモテ1
301. エレミヤ15-17;2テモテ2
302. エレミヤ18-19;2テモテ3
303. エレミヤ20-21;2テモテ4
304. エレミヤ22-23;テトス1
305. エレミヤ24-26;テトス2
306. エレミヤ27-29;テトス3
307. エレミヤ30-31;ピレモン1
308. エレミヤ32-33;ヘブル1
309. エレミヤ34-36;ヘブル2
310. エレミヤ37-39;ヘブル3
311. エレミヤ40-42;ヘブル4
312. エレミヤ43-45;ヘブル5
313. エレミヤ46-47;ヘブル6
314. エレミヤ48-49;ヘブル7
315. エレミヤ50;ヘブル8
316. エレミヤ51-52;ヘブル9

317. 哀歌1-2;ヘブル10
318. 哀歌3-5
319. エゼキエル1-2
320. エゼキエル3-4;ヘブル11
321. エゼキエル5-7;ヘブル12
322. エゼキエル8-10;ヘブル13
323. エゼキエル11-13;ヤコブ1
324. エゼキエル14-15;ヤコブ2
325. エゼキエル16-17;ヤコブ3
326. エゼキエル18-19;ヤコブ4
327. エゼキエル20-21;ヤコブ5
328. エゼキエル22-23;1ペテロ1
329. エゼキエル24-26;1ペテロ2
330. エゼキエル27-29;1ペテロ3
331. エゼキエル30-32;1ペテロ4
332. エゼキエル33-34;1ペテロ5
333. エゼキエル35-36;2ペテロ1
334. エゼキエル37-39;2ペテロ2
335. エゼキエル40-41;2ペテロ3
336. エゼキエル42-44;1ヨハネ1
337. エゼキエル45-46;1ヨハネ2
338. エゼキエル47-48;1ヨハネ3
339. ダニエル1-2;1ヨハネ4
340. ダニエル3-4;1ヨハネ5
341. ダニエル5-7;2ヨハネ1
342. ダニエル8-10;3ヨハネ1
343. ダニエル11-12;ユダ1
344. ホセア1-4;ヨハネ黙示録1
345. ホセア5-8;ヨハネ黙示録2
346. ホセア9-11;ヨハネ黙示録3
347. ホセア12-14;ヨハネ黙示録4
348. ヨエル;ヨハネ黙示録5
349. アモス1-3;ヨハネ黙示録6
350. アモス4-6;ヨハネ黙示録7
351. アモス7-9;ヨハネ黙示録8
352. オバデヤ;ヨハネ黙示録9
353. ヨナ;ヨハネ黙示録10
354. ミカ1-3;ヨハネ黙示録11
355. ミカ4-5;ヨハネ黙示録12
356. ミカ6-7;ヨハネ黙示録13
357. ナホム;ヨハネ黙示録14
358. ハバクク;ヨハネ黙示録15
359. ゼパニヤ;ヨハネ黙示録16
360. ハガイ;ヨハネ黙示録17
361. ゼカリヤ1-4;ヨハネ黙示録18
362. ゼカリヤ5-8;ヨハネ黙示録19
363. ゼカリヤ9-12;ヨハネ黙示録20
364. ゼカリヤ13-14;ヨハネ黙示録21
365. マラキ1-4;ヨハネ黙示録22

著者について

アンドリュー・ウォーマック

1978年にアンドリュー・ウォーマック宣教法人を創立して以来、アンドリュー氏は、神から与えられた特別の啓示を通し、そして神に聖別された者として、簡潔さと明確さを持って神の偉大なるみ言葉の真理を説き続けてきました。どこへ行く時にも、神のみ言葉を強く重点化する姿勢は、人々を罪と自己の義から解き放ち続けています。そしてそれは多くの場合、しるしと不思議なわざ(奇跡)をともないます。アンドリュー氏は過去に3箇所の教会で牧師として奉仕し、今もクリスチャンを対象にイエスキリストの良き知らせを教え解くという、神からの使命を全うしています。

ドン・クロウ

ドン氏は1975年にアンドリュー氏の法人に加わりました。1988年にアンドリュー・ウォーマック宣教法人に専任のスタッフとして加わる以前は、ニューメキシコ州、テキサス州そしてオクラホマ州にて宣教活動を行いました。1994年にはカリスマイブルカレッジに講師として加わりました。1990年代始めには、「セインツのためのコレクション」という慈善事業を設立。今日では発展途上国向けの福音手引書と活動援助を提供する宣教法人の組織となりました。